

CSR Report 2015

詳細版



株式会社 **ダスキン**

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

TEL.06-6387-3411 (代表)

www.duskin.co.jp

目次

- 02 会社概要、このレポートについて
- 04 事業紹介
- 06 トップメッセージ
- 08 CSRビジョン
- 10 長期ビジョン「ONE DUSKIN」と中期経営方針2015
- 12 コーポレートガバナンス
- 安心・安全・品質
 - 16 特集1 | ダスキンの安全・安心・品質の取り組み
お客様の声を活かすために
 - 18 安心・安全・品質
- 人材
 - 24 特集2 | ダスキンの人材育成の取り組み
技に心がともなった人材を育てるために
 - 26 人材
- 環境
 - 30 特集3 | ダスキンの環境の取り組み
地球温暖化防止のために
 - 32 環境
- 地域・社会貢献
 - 42 特集4 | ダスキンの地域・社会貢献の取り組み
掃除の力で子どもの力を伸ばすために
高齢者の暮らしに寄り添うために
 - 46 地域・社会貢献

特集1 安全・安心・品質



特集2 人材育成



特集3 環境



特集4 地域・社会貢献

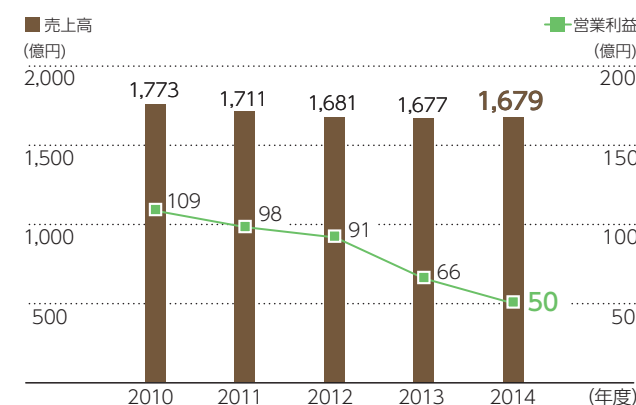


会社概要

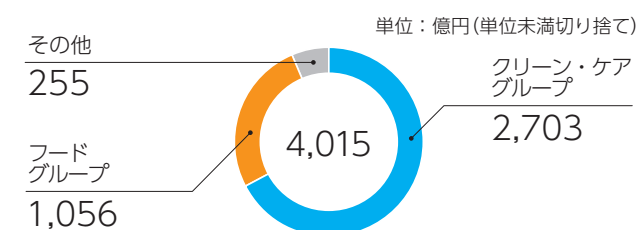
社名(商号)	株式会社ダスキン 【DUSKIN CO., LTD.】
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
代表者	代表取締役社長 山村 輝治
設立	1963(昭和38)年2月4日
資本金	113億円(2015年3月31日現在)
連結売上高	1,679億円(2015年3月期)
連結営業利益	50億円(2015年3月期)
全国チェーン店 お客様売上高※	4,015億円(2015年3月期)
従業員数	1,928人(2015年3月31日現在)単体 3,487人(2015年3月31日現在)連結
関係会社数	全33社(2015年3月31日現在)

※全国チェーン店お客様売上高は、国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しています。

▶ 連結売上高・営業利益の推移 単位：億円(単位未満切り捨て)



▶ 2015年3月期 全国チェーン店お客様売上高構成比



このレポートについて

■ 編集方針

CSR Reportは、持続可能な社会の実現に向けたダスキンの考え方と取り組みを、ステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

CSR Report 2015では、4つの重点活動「安全・安心・品質」、「人材」、「環境」、「地域・社会貢献」のテーマごとに社員が登場し、事業活動を通じた日々のCSRの取り組みを特集として紹介しています。

今後もステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、適切で透明性の高い情報開示に努めていきます。本レポートをお読みいただき、皆様の忌憚のないご意見をお聞かせください。

■ 対象期間

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)を主な対象としていますが、2013年度以前及び2015年度の活動についても一部掲載しています。

■ 対象範囲

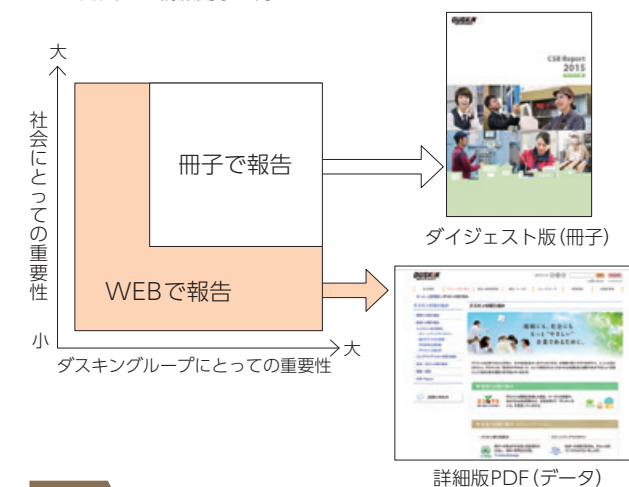
株式会社ダスキン、国内の関係会社及び加盟店までを報告対象範囲としています。その内、株式会社ダスキン及び子会社(連結対象)の取り組みは「企業集団」、企業集団及び関連会社(持分法対象)の取り組みは「グループ」、グループ及び加盟店、協栄工場等の取り組みは「グループ及び加盟店等」として紹介しています。

■ 発行時期

2015年6月(次回発行予定：2016年6月)

■ CSR Reportの構成(報告メディアの考え方)

冊子は、特に社会やダスキングループが大切と考えている取り組みを中心に、読みやすさ、わかりやすさに配慮して編集しています。WEBサイトは、冊子の情報に加え、詳細なデータや取り組みを掲載した詳細版PDFとし、より幅広いステークホルダーの皆様に向けて充実した情報開示に努めています。



WEB

www.duskin.co.jp/torikumi/csr/report/index.html

■ 参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」

GRI「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第4版」

事業紹介

CLEAN & CARE GROUP

クリーン・ケアグループ

ダストコントロール **DUSKIN**

清掃・衛生用品のレンタル&販売

創業時からダスキンの中心事業として手がけている清掃・衛生用具のレンタル&販売。ご家庭へ、事業所へ、時代にに応じた“キレイ”をトータルにご提案するために、お困りごとの解決だけでなく、新しいおそうじスタイルを発信しています。

サービスマスター **ServiceMASTER**

プロのお掃除サービス

プロならではの高度なクリーニング技術で、ご家庭、オフィス・店舗の汚れをキレイに解決。

メリーメイド **merry maids**

便利な家事代行サービス

ご家庭ごとのご要望や状況に合わせて、気配りとしていねいさで定期的に家事を代行。

ターミニックス **TERMINIX**

害虫獣の駆除・予防管理

薬剤の使用を抑えた安心のシステムで、シロアリ、ゴキブリ、ネズミなどの害虫獣を駆除・予防管理。

トゥルグリーン **TRUGREEN**

庭木のお手入れサービス

優れた植栽のメンテナンス技術によって、緑豊かな環境を年間を通して維持・管理。



ドリンクサービス

ドリンク関連商品のレンタルと販売

100%天然水のナチュラルミネラルウォーターやコーヒーなどの定期お届けサービス。



レントオール

イベント用品や日用品などのレンタル
イベント用品レンタル・設営・運営のお手伝いやベビー・トラベル用品などのレンタルサービス。



ヘルス&ビューティ

自然派化粧品と健康食品の販売

心もからだも健康で、いきいきと美しい毎日をサポート。

ホームインステッド **Home Instead**

ご高齢者の暮らしのお手伝い

ちょっとしたお困りごとから家事・介護・認知症ケアサービスを提供。



*公的介護保険適用外のサービスです。

ヘルスレント **Health Rent**

介護用品・福祉用具のレンタルと販売

車いすや介護用ベッドなど約3,500点のレンタル商品をご用意。

*介護保険対象の福祉用具、介護用品は除く



ユニフォームサービス

ユニフォームのリース・販売とクリーニング

清潔で着心地の良いユニフォームをお届けします。



FOOD GROUP

フードグループ

ミスタードーナツ **Mister Donut**

手づくりのバラエティ豊かなドーナツ

お腹と一緒にこころも満たしてくれる、手づくりドーナツ。こだわりのおいしさに笑顔のおもてなしを添えて、子どもから大人まで、みんなに楽しいひとときをご提供しています。

カフェデュモンド **Café Du Monde**

カフェオレとベニエのカフェ

ニューオリンズが育んだ、おいしいひとときをお楽しみいただけます。



ザ・どん

新鮮食材にこだわるどんぶり専門店

ヘルシー&ナチュラルで豊富なメニューが楽しめる和食のお店。



かつアンドかつ

とんかつ専門レストラン

こだわりのおいしさをご家族で楽しめる豊富なメニューが魅力的なとんかつレストラン。



おひつ御膳

四季五感

三度楽しむ おひつ御膳

どのメニューも、そのまま、ひと味プラス、のだし茶漬けまでお楽しみいただけます。



MOSDO!

MOSDO

(モスド)
モスバーガーとの
コラボレーション

ドーナツとバーガーがセットで楽しめます。



*2015年7月リニューアルオープン

Bakery Factory

(ベーカリーファクトリー)
いつも焼きたて
郊外型大型ベーカリー

「オリジナル低温熟成生地」や「自家製種」を使用した100種類以上のパンを提供。



THE Chiffon & Spoon

(ザ・シフォン&スプーン)
超しっとり食感の
シフォンケーキ

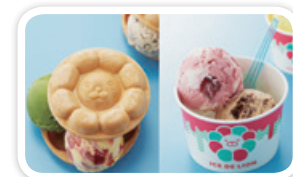
ふんわり超しっとり食感の、スプーンで食べるシフォンケーキ。



ICE DE LION

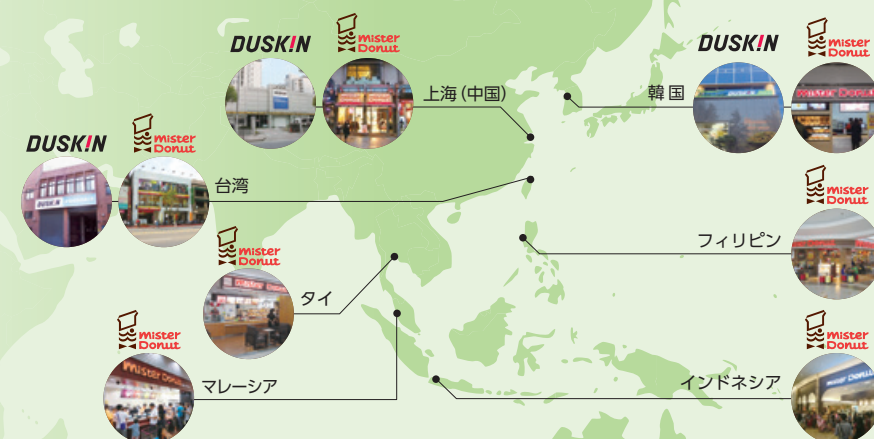
(アイス・デ・ライオン)
バラエティに富んだ
アイスクリームショップ

ゴロっとした具材感で見た目にも可愛い商品が楽しめます。



海外拠点

海外から導入した事業ノウハウにダスキンならではのやさしさやきめ細かさを加え日本流のサービスに醸成したビジネスモデルとして、アジア圏を中心に事業展開しています。



トップメッセージ

社会の期待に喜びをもってお応えし、 “世界一 ひとにやさしいダスキン”を目指します



株式会社ダスキン
代表取締役社長

山村 輝治

経営の根幹をなす“道と経済の合一”

当社は創業以来、社会や地域で暮らす人々に“喜びのタネ”をまくことで、世の中のお役に立ちたい、という創業者 鈴木清一の思いを継承してきました。この実践を意味する「道と経済の合一」は、当社が大切にしている理念であり、当社の経営の根幹をなす考え方です。

「道」とは「心」のことであり、人への「やさしさ」や「温かさ」、感謝の気持ちは、時代が変わっても変えてはならないものです。それに対して「経済」とは、企業としての成長であり、時代に合わせ積極的に変えていかなければならないものです。この理念は、本部だけでなく法人格が異なる加盟店も、同じ理念を共有する運命共同体である、という創業者の強い思いからくるものであり、ダスキンとしての事業活動に欠かせない心の拠り所となっています。

持続的な成長を目指して

わが国においては、少子高齢化や情報化、グローバル化など社会は急激に変化しています。そのような中、当社は長期ビジョン「ONE DUSKIN」を定め、その実現に向けた「中期経営方針2015」を策定しました。「ONE DUSKIN」とは、「ONLY ONE」(理念を共有するフランチャイズチェーン)、「NUMBER ONE」(信頼を積み重ねた地域ナンバーワンのフランチャイズ加盟店)、「ALL FOR ONE」(すべての事業・サービスが一つになってご要望にお応えする)を実現するものです。多様化するお客様のニーズにお応えする商品・サービス・仕組みを創造し、当社のすべての事業が一つになって、さらにお客様にホスピタリティあふれる対応ができる企業を目指します。

経営ビジョン

世界一 ひとにやさしいダスキンは、
新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに、
笑顔あふれる社会を目指します。



すべての人が心豊かに暮らせる 社会づくりを

当社のCSRとは、「道と経済の合一」という理念そのものであり、優れた商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らし、笑顔あふれる地域社会の持続的な発展に貢献することです。長期ビジョン「ONE DUSKIN」を実現するために、CSR活動の重点テーマを、「安全・安心・品質」「人材」「環境」「地域・社会貢献」の4つに定めました。本部にとどまらず、加盟店も含めて社員一人ひとりのCSRに対する理解を深め、ダスキンとして、数値目標の設定も視野に入れて取り組んでまいります。

■安全・安心・品質

消費者・お客様に信頼される企業として、徹底した管理体制の構築・実践に取り組んでいます。まず安全で安心であるということを何よりも大切に商品開発を進めてまいります。良い点ばかりでなく、反省や教訓とすべき点も忘れずに、加盟店と本部で共有していこうと考えています。

■人材

サービスの基本は「人」と考え、教育や研修を通じて、お客様に愛される「人づくり」を進めています。良い商品を作ることが重要なのはもちろんですが、お客様と接する「人」がそれ以上に重要です。

一生懸命お客様のために活動し、そしてお客様に愛される。このような「人」の育成こそが、本部の責任と捉えています。

■環境

環境保全と企業経営の両立に全力で取り組みます。例えば、ダストコントロール商品を繰り返して使うために大量の水を使って洗濯をします。洗濯して汚れた水はコストをかけても、きれいにして自然に返す、ということを徹底しています。これら環境への負荷を軽減させる活動を真剣に取り組んでいきます。

■地域・社会貢献

お客様の暮らす街や地域でもっとお役に立つべく、さまざまな活動に取り組みます。加盟店で働く社員の多くは、その地域で生まれ育っており、地域の一員という意識を強く持って、それぞれの地域で積極的に地域・社会貢献活動をしています。また、本部としての社会貢献の取り組みも推進していきます。

私たちはこれからも、すべての人が心豊かに暮らせる社会づくりのお手伝いを続けていきます。そして、“世界一 ひとにやさしいダスキン”を目指し、CSR活動に取り組んでまいります。

CSRビジョン

【ダスキングループのCSR】

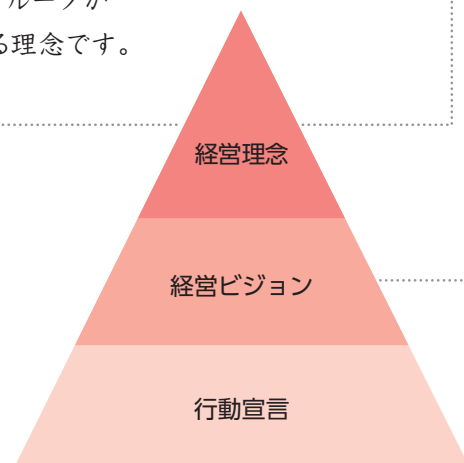
「社会からの期待に喜びをもって応えること」

人と環境と社会のつながりに心を配りながら、社会からの期待に謙虚に耳を傾け、喜びをもって応えること。
安全・安心で優れた商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らし、笑顔あふれる地域社会の持続的な発展に貢献すること。

経営の根幹

道と経済の合一

「道」とは「心」すなわち社会に向き合う姿勢。
「経済」とは企業としての成長。
「道と経済の合一」とは、企業として社会から
求められる期待に喜びをもって応え、
社会のお役に立ちながら
持続的に成長することです。
創業以来、ダスキングループが
経営の根幹としている理念です。



日々の行動の根底にある
社員一人ひとりが業務に向き合う姿勢

ダスキン悲願

謙遜 賢明 剛健の徳を養い
仕事の第一は人間を作ることでするように
働くことが楽しみであり
利益は喜びの取引から生まれますように
商いを通じて人と仲良くなり
経済をもって世界平和のお役に立ちますように

合掌

ダスキーン家の祈り

はかなきは金銭 たよりなきは地位
人の思惑も苦にせず ただひたむきに
ざんげの一路を歩み
己を捧げて報恩の托鉢を致します

合掌

祈りの経営ダスキン

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです
自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと
他人に対しては
喜びのタネまきをすること
我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にする

合掌

ありがとうございました

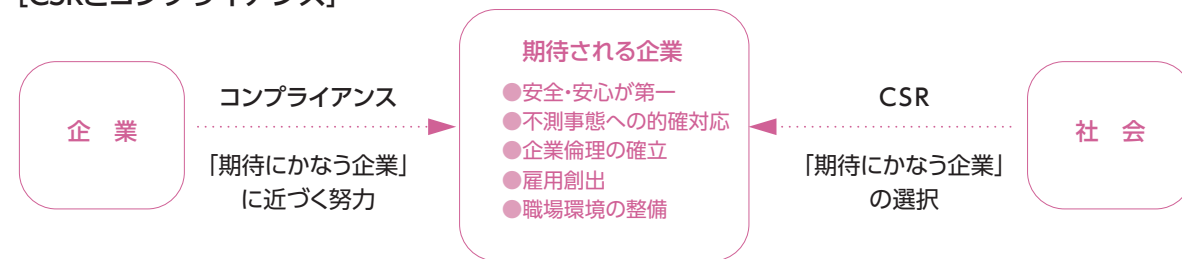
世界一 ひとにやさしいダスキン

新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに、
笑顔あふれる社会を目指します。

「信頼される誠実な企業」を目指して

- 1 私たちは常に、
お客様の立場に立って行動します。
▶お客様の視点
- 2 私たちは常に、
法律を守って行動します。
▶社会・環境・地域社会の視点
- 3 私たちは常に、
社会の良識にかなった行動をとります。
▶企業(ガバナンス)の視点
- 4 私たちは常に、
自分に対して誇りを持てる行動をとります。
▶社員の視点

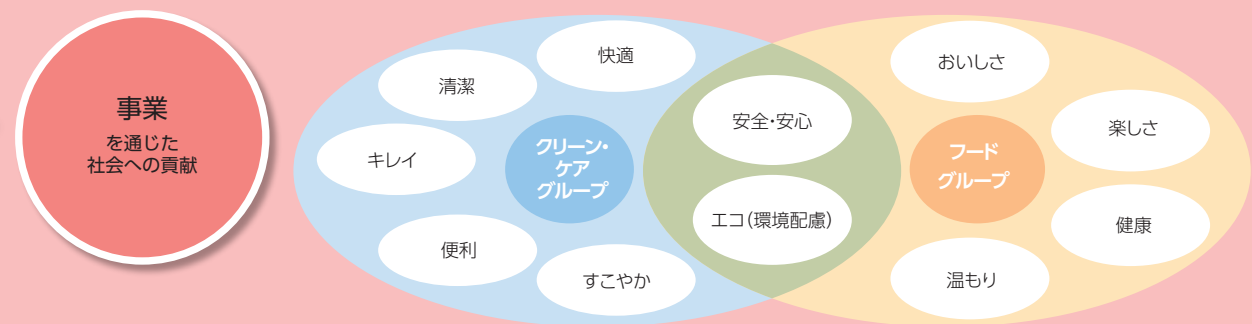
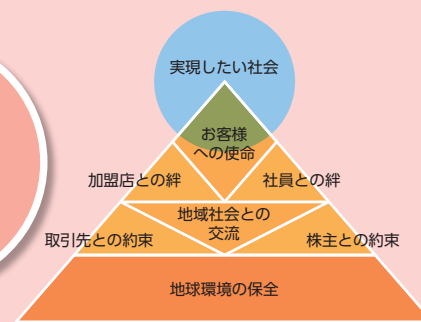
【CSRとコンプライアンス】



CSR指針

経営と一体になったCSR

ダスキンは、フランチャイズという事業システムを起点に、世の中の人に喜ばれる「喜びのタネまき」を実践し、
地域の人々と喜びを分かち合い、物も心も豊かな暮らしに貢献することで、継続的な企業価値の向上を実現します

ステーク
ホルダー
に向き合う
姿勢

実現したい社会	新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに、笑顔あふれる社会に
お客様への使命	世界中の誰よりも、お客様視点に立って、考え、形にする
加盟店との絆	同じ理念を共有し、行動する
社員との絆	互いに支えあい、挑戦し、成長できる
地域社会との交流	信頼を積み重ね、最も身近で頼りになる存在となり、地域社会と共生・共栄する
取引先との約束	適正で誠実な取引を通じて、強固なパートナーシップを構築する
株主との約束	コーポレートガバナンスの強化に努め、企業価値の(永続的な)向上を目指す
地球環境の保全	環境に配慮した事業を継続し、事業の成長と環境負荷低減を両立する

行動基準

グループ
社員
一人ひとりの
行動指針

消費者・お客様に対して

- 1.安全・安心で環境に配慮した商品・サービスの提供
- 2.お客様の個人情報守秘の徹底
- 3.適正な表示と説明
- 4.サービスフォロー体制の充実
- 5.適正な営業活動やサービスの提供
- 6.消費者・お客様の声を尊重
- 7.消費者・お客様との約束の実行
- 8.迅速・正確な情報開示と誠実な対応
- 9.危機の際の対応

社会に対して

- 1.法と社会常識に則した行動
- 2.地域社会の安全・安心への配慮
- 3.地域環境の保全
- 4.社会貢献
- 5.反社会的勢力への対応
- 6.行政との健全な関係の保持

株主・投資家に対して

- 1.法定情報などの適正な公表
- 2.経営情報の正確で積極的な開示と信頼の確保
- 3.強固な経営基盤の確立と永続的な成長
- 4.インサイダー取引規制の順守
- 5.会社財産の適切な使用

取引先に対して

- 1.取引における法令順守
- 2.取引先へのコンプライアンス順守の要請
- 3.契約に基づく対等な関係
- 4.公正な基準と適正な手続き
- 5.取引先との節度ある関係
- 6.国際ルールの尊重と現地法令の順守

ダスキングループ及び加盟店等の皆さんに対して

- 1.契約に基づく対等・公正な関係
- 2.対話による相互理解
- 3.安全で安心な品質の保証
- 4.フランチャイズ加盟店・加盟希望者に対する正確な情報提供

ダスキンと私たち(社員に対して)

- 1.人権の尊重
- 2.公正な評価と処遇
- 3.性別による役割分担意識の排除
- 4.自律と責任ある行動
- 5.部門間協働の実践
- 6.法令・ルールに基づく判断・行動
- 7.会社情報の適正な管理
- 8.上司への速やかな報告
- 9.職場環境の維持
- 10.公私混同の禁止
- 11.ハラスメントの排除

事業紹介	トップメッセージ	CSRビジョン	長期ビジョン 「ONE DUSKIN」 と中期経営方針 2015	コーポレート ガバナンス	安全・安心・品質	人 材	環 境	地域・社会貢献
------	----------	---------	---	-----------------	----------	-----	-----	---------

長期ビジョン「ONE DUSKIN」と中期経営方針2015

会社の経営の基本方針

当社グループは創業時より、企業理念である「祈りの経営」のもと、単に利益を追求することにとどまらず、世の中の人に喜ばれる「喜びのタネまき」を実践してまいりました。今後も、「世界一 ひとにやさしいダスキン」を目指した取り組みで、地域の人々と喜びを分かち合い、物も心も豊かな暮らしに貢献することを通じて、継続的な企業価値の向上を実現してまいります。

長期ビジョン *ONE DUSKIN* の概要

ONLY ONE ～理念を共有するフランチャイズチェーン～

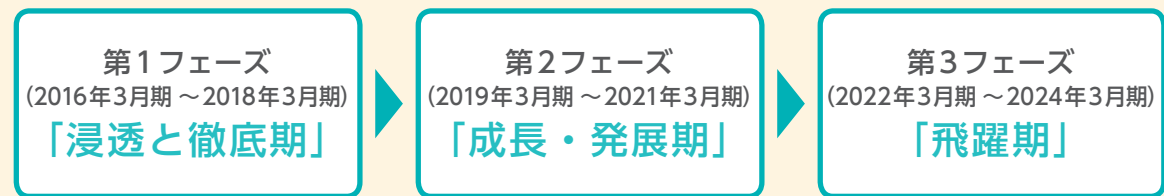
人と人が繋がり、安心して笑顔で暮らせる街を作り出す唯一の企業グループを目指します。

NUMBER ONE ～信頼を積み重ねた地域ナンバーワンのフランチャイズ加盟店～

街で最も頼れる存在であるために、お客様の要望に先回りした提案を行うことを使命といたします。

ALL FOR ONE ～すべての事業・サービスが一つになってご要望にお応えする～

お客様に最高のサービスをお届けするためにグループが丸となってお客様の役に立つ存在となることを目指します。



中期経営方針2015（2016年3月期～2018年3月期）

「ONE DUSKIN」を目指す第1フェーズとなる2016年3月期～2018年3月期は、業績を再び成長軌道へ乗せることに主眼を置いた取り組みに注力いたします。

事業モデル構築

当社とフランチャイズ加盟店がお客様情報を共有・活用できる仕組みを構築します。

構造改革

生産・物流・調達及び情報システムなどのコスト構造を見直し、利益体質の改善に注力します。

新たな成長

新たな事業の開発に注力するとともに、クリーン・ケア及びミスタードーナツの海外展開を拡大します。

コーポレートガバナンス強化

公正で透明性の高い経営を目指すという考え方に加え、成長戦略の一環として強化を図ります。

事業紹介	トップメッセージ	CSRビジョン	長期ビジョン 「ONE DUSKIN」 と中期経営方針 2015	コーポレート ガバナンス	安全・安心・品質	人 材	環 境	地域・社会貢献
------	----------	---------	---	-----------------	----------	-----	-----	---------

CSR活動の考え方(重点テーマ)

長期ビジョン「ONE DUSKIN」を実現するために、「安全・安心・品質」「人材」「環境」「地域・社会貢献」を重点テーマに取り組んでいきます。

安全・安心・品質

消費者・お客様に信頼される企業を目指して、品質方針に則り、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供するため、徹底した管理体制の構築・実践に取り組んでいます。

人 材

サービスの基本は「人」です。お客様に「やさしさ」という価値を感じていただくためには、技と知識に心がともなうことが必要です。この考えのもと、ダスキンではさまざまな教育や研修を通じて「人づくり」を進めています。

環 境

環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

地域・社会貢献

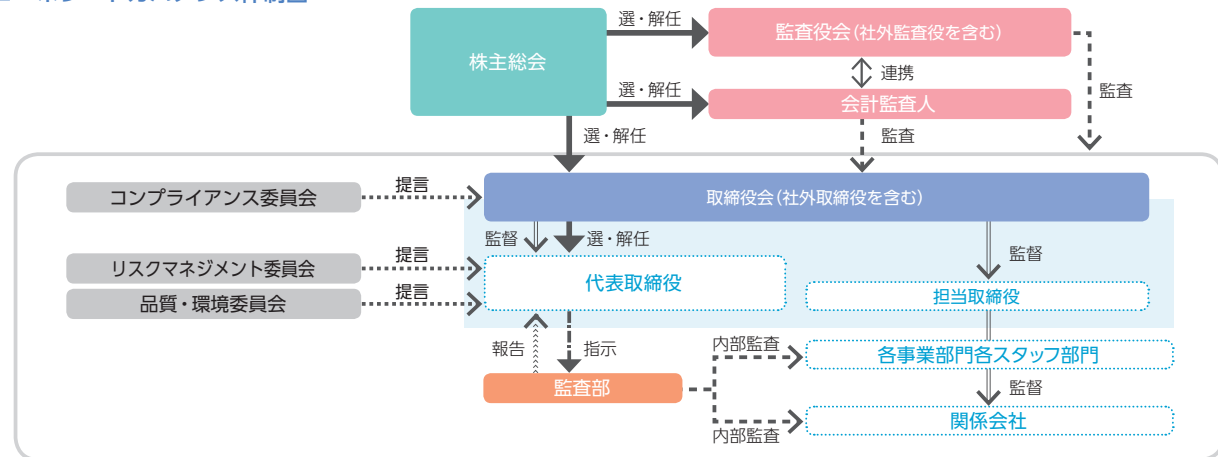
企業であると同時に、その地域社会の一員でもあります。お客様の暮らす街や地域でもっとお役に立ちたい。ダスキンは「喜びのタネをまこう」という理念のもとこれからも地域社会に貢献できる企業としてさまざまな活動に取り組んでいきます。

重点分野		KPI(Key Performance Indicators)目標	
安全・安心・品質	KPI目標	すべての提供商品において、導入直後の重大不具合発生0件を継続します。	
	設定意図	前中期経営方針では新商品導入直後の不具合発生をなくすことに取り組んできたことから、その対象範囲を広げつつ活動を継続します。	
人 材	多様な人材の登用・活躍の推進	KPI目標	エリアマネジャー含む女性管理職比率(ダスキン単体) 2014年度末4.8%を2020年度末に15.2%にします。
		設定意図	女性の活躍推進は日本企業において共通の課題であり、ダスキンにおいても、性別を問わず登用することが企業成長には不可欠であるという考えに基づいています。
	人材育成	KPI目標	一人当たりの年間研修時間(ダスキン単体) 2014年度13時間/人を継続して、育成に対する投資を行います。
		設定意図	一人ひとりの社員が自らの能力を最大限に発揮することこそダスキンの発展につながるという理念のもと、きめ細かな教育研修プログラムを用意して「人づくり」を進めます。
環境	KPI目標	グループGHG(温室効果ガス)排出量 2017年度末までに2014年度を基準として3%削減します。	
	設定意図	事業部単位の目標から、グループ及び加盟店等のGHG(温室効果ガス)排出量を集計・管理する体制を整備するとともに、年1%削減宣言から進めます。	
地域・社会貢献	KPI目標	クリーンアップマイタウン延べ参加人数 2006年からの延べ人数22万名を2017年度末までに30万名以上とします。	
		2015年度から2017年度までの3ヵ年目標 教員向け学校掃除セミナー受講者2,000名・75教育委員会 出前授業キレイのタネまき参加児童数16万2,000名・1,620校	
	設定意図	社会貢献活動が活発な当社グループにおいては、さまざまな活動を通じて社会貢献への意識を向上させる活動を継続します。	

コーポレートガバナンス

ダスキンは、コーポレートガバナンスの強化を経営の最重要事項と捉え、
経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる経営体制を確立するとともに、
健全で透明性の高い経営が実現できるよう、体制や組織、システムを整備していきます。

▶コーポレートガバナンス体制図



コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス体制

監査役設置会社として、業務執行者を兼務する取締役の相互監視と、専門性が高い監査役による経営の監視を行い、企業価値の継続的発展を目指す体制を構築しています。経営環境の変化に対する迅速で的確な経営判断と、健全で効率的な業務執行の両立を実現させています。

取締役会

取締役会は、代表取締役社長を議長として毎月2回開催し、当社グループの経営上の重要な事項についての意思決定を行うとともに、業務執行の監督を行っています。独立役員である社外取締役2名（ともに女性）を含む12名（2015年3月末時点）で構成しており、経営環境の変化などに迅速に対応し、経営責任を明確化するために、取締役の任期を1年としています。社外取締役には、当社と特別な利害関係がなく独立性が高いと判断される人材を招聘しています。2名の社外取締役は、各出身分野における豊富なビジネスキャリアと専門的知見を有しており、経営の透明性、健全性、手続きの公平性を保持する上で多面的視点から有益な助言をいただいています。

監査役会

独立役員である社外監査役3名（うち1名女性）を含む5名の監査役が、当社グループの重要な意思決定のプロセスや業務執行状況を監査しています。監査役は、取締役会をはじめとする重要な会議に出席して意見を述べるほか、監査役会を毎月1回開催して監査方針の決定や監査状況の進捗を確認しています。

社外監査役は、法務面、財務・会計面の専門的見地からのチェックが働くよう、専門家（公認会計士、弁護士）を招聘しています。

内部統制

内部統制システム

①業務運営の基本方針

当企業集団は、「道と経済の合一」を目指すことを経営の根幹とし、経営理念の実現に向けその行動指針として下記の「行動宣言」及び具体的な行動基準として「ダスキン行動基準」を策定し、業務運営の指針としています。

■ダスキン行動宣言

「信頼される誠実な企業」を目指して

- ① 私たちは常に、お客様の立場に立って行動します。
- ② 私たちは常に、法律を守って行動します。
- ③ 私たちは常に、社会の良識にかなった行動をとります。
- ④ 私たちは常に、自分に対して誇りを持てる行動をとります。



②当企業集団の取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

③当企業集団の取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

④当企業集団の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

⑤当企業集団の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

⑥企業集団における業務の適正を確保するための体制

⑦財務報告の信頼性を確保するための体制

⑧監査役の職務を補助すべき使用人の取締役からの独立性及び当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

⑨企業集団の取締役・監査役及び使用人又はこれらの者から報告を受けた者が当社の監査役に報告をするための体制

⑩その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

内部監査

社長直轄の内部監査部門として監査部を設け、10名体制で監査計画に基づく当企業集団の監査（業務、会計、システム）と財務報告の信頼性を確保するために内部統制整備・運用評価を実施し、定期的に社長に報告するとともに、重要な発見事項を取締役と監査役全員に報告しています。また、情報の共有を目的として①毎月1回監査役と連絡会を開催②四半期毎に会計監査人と監査報告会を実施③年3回内部統制の運用評価結果を取締役会に報告しています。

内部監査は、実地監査を原則とし、チェックリスト等を使用して帳票、証憑、契約書、資産現物等を確認することにより各種規程の順守状況を監査しています。監査終了後、監査報告書に監査結果をまとめ速やかに監査対象部門に対して報告を行い、改善が必要な事項については回答（改善策）を提出させ、必要であれば監査検討会を開催し、その有効性を検証しています。また、「自己点検」の仕組みを導入し、適正な業務運用の継続に努めています。

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制

企業集団を対象に、リスク管理について定めるリスクマネジメント基本規程を策定し、同規程においてリスク管理部門及びリスクマネジメント部門責任者を定め、企業集団のリスクを網羅的・統括的に管理しています。また、定期的にリスクマネジメント委員会を開催し、企業集団リスクマネジメントに関し、指示・指導を行っています。

また、子会社においては、規模や業態などに応じてリスクマネジメント責任者を設置し、各社のリスクマネジメントを推進しています。子会社においてリスクが顕在化した場合にはリスク管理部門と連携して対策にあたります。

危機発生時の体制

●危機情報の集中

危機・自然災害による被害発生時、又は震度5強以上の地震発生時等、リスクマネジメントの各部門責任者は自ら情報収集を行い、品質保証・リスク管理部に報告しています。また、震度5強未満の地震でも被害が発生していると思われる場合は、直ちに情報収集を実施します。

●危機対策本部・災害対策本部の設置

企業集団に及ぼす影響が高いリスクが発生した場合、社長は、対策本部設置の有無を判断し、対策本部長を指名します。対策本部は人命尊重を最優先として被害の拡大の防止・早期復旧を目的に必要な事項を検討、決定します。本社の対策本部は対策の立案・対応を実施し、現地の対策本部は本社と連携して被害拡大防止など対応を実施します。

リスク未然防止活動

各部門の特有のリスクに対応するため、各部門が自らリスクを洗い出し、重要性を分析のうえ、想定される要因ごとに対応策を策定し、実行します。品質保証・リスク管理部は、各部門・拠点を訪問し、対策の実施状況を確認・評価します。この評価をもとにリスクと対策の見直しを行います。

情報セキュリティ

業務上接する情報の管理レベルを段階に分け、保管方法やアクセス権限に制限を設けるなど、情報への不正アクセスや紛失、破壊、改ざん、漏洩などを防止しています。

個人情報の取り扱いについては個人情報保護方針を定め、全社員への周知・徹底を図るとともに、個人情報保護管理者を責任者とする管理体制を構築しています。個人情報保護マネジメントシステムの要求事項に準拠した体制を整備しており、ルールを厳格に運用しています。

コンプライアンス

“Compliance”は「相手の身になって考え、行動すること」と捉え、ダスキンでは一人ひとりがお客様や社会から信頼されるために、ダスキン行動基準を日々の業務で実践しています。

コンプライアンス委員会

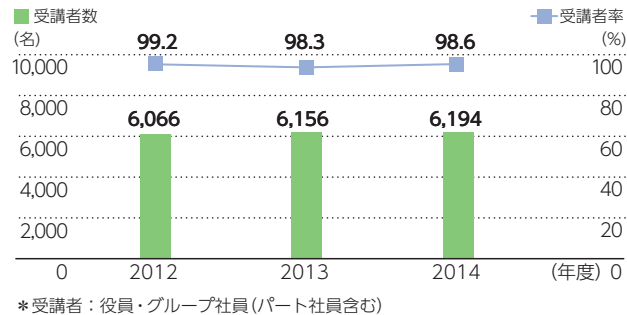
当社グループのコンプライアンス体制の確立、浸透、定着のため、コンプライアンス委員会を設置しています。この委員会は法務・コンプライアンス部担当取締役を中心に、取締役、社外取締役、弁護士、監査役、労働組合委員長で構成され、コンプライアンス上の重要課題や年度計画、教育研修計画の審議を行っています。また、取締役会の諮問機関として、当社のコンプライアンスに関する業務を行っています。

コンプライアンス推進の取り組み

当社グループでは、役員・社員に対する行動基準の周知・徹底に努め、毎年、全役員・全社員を対象として、コンプライアンス研修を実施しています。この研修では、外部の講師を招いて講義を受けるほか、倫理的な判断力を養うケーススタディ研修を行っています。

また2014年度は、モバイル情報端末やソーシャルメディアの普及など、社会情勢の変化を踏まえ、行動基準を一部改訂しました。

▶コンプライアンス研修受講者数・受講者率の推移

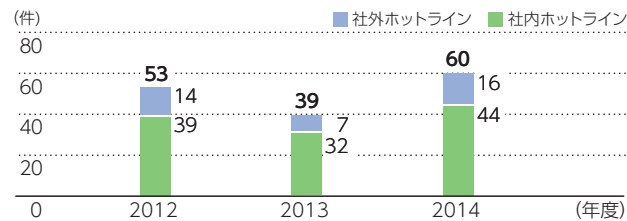


コンプライアンス研修風景

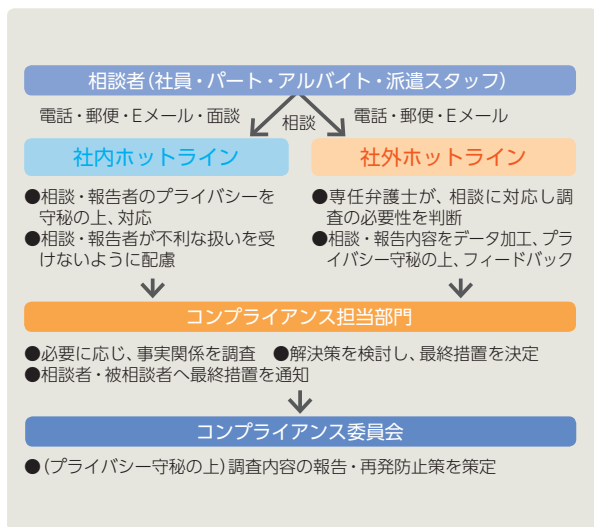
「ホットライン」の設置

「公益通報者保護法」の趣旨に則り、ダスキンでは法務・コンプライアンス部や外部の弁護士事務所に直接通報できる「ホットライン」を運用しています。法令違反や反倫理行為、社内の不正などを見逃さない仕組みを整え、健全で透明性の高い企業風土の醸成を目指しています。通報者のプライバシーを保護し、不利益な扱いを受けないようにしています。

▶ホットライン利用者数の推移



▶ホットラインの流れ



特集1 | ダスキンの安全・安心・品質の取り組み

お客様の声を活かすために

お客様から寄せられる声は、社会情勢の変化を反映しています。

ダスキンは、そんなお客様の声を取り入れ、持続的成長につなげたいと考えています。

コールセンターに寄せられた声が、運営や商品の改良・改善に活かされています。

お客様の声は大切な宝物

「ダスキンコールセンター」と、「ミスタードーナツお客さまセンター」。ともに、商品やサービスについてのお客様のご意見やご要望をお聞きしています。

お電話の1件1件に、貴重なご意見をいただくことに感謝の気持ちを持って対応し、ご質問に対して明快な返答ができるように心がけています。できるだけお客様をお待たせしないように、日ごとや時間帯ごとにかかってくる電話の数を予測し、人員体制を柔軟に変更できるようにしています。

こうしてお客様からいただく声は、ダスキンにとっての大切な宝物です。

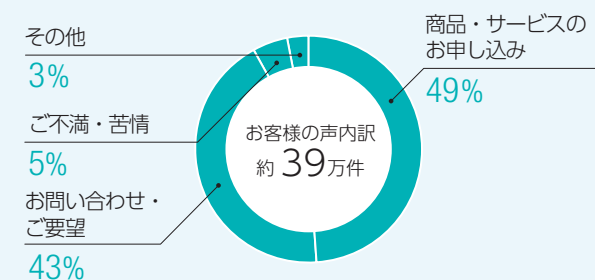
こうした宝物から、少しでもヒントを得て、もっとお客様のお役に立てるようにしたい。オペレーターが正確に入力したお客様とのやりとりをもとに、お客様が今、どんなことを求めているのかを各事業部門の担当者がタイムリーに把握できるようになっています。そして、より良い商品やサービスへ。ダスキンの未来を支えるのは、ほかでもなく、お客様の声なのです。

ダスキンの数字

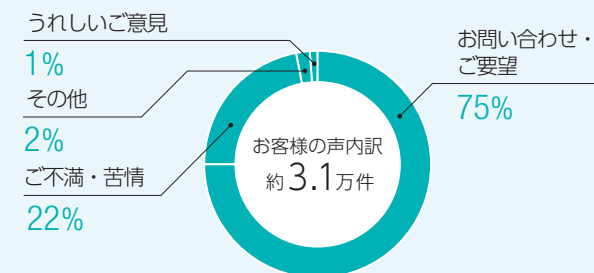
24時間以内に電話、48時間以内に訪問

お客様から寄せられる声には、地域拠点の担当者からご連絡をするべき内容のものもあります。地域の担当者は原則として、24時間以内にお客様にお電話し、48時間以内にお客様のもとを訪問することとしています。迅速な対応で、お客様の声に応えています。

ダスキン コールセンター



ミスタードーナツ お客さまセンター



お客様の声をかたちに

ダスキンの商品を不在がちなお客様にも

クリーン・ケア開発本部 組織開発部 おさき ひろかず 尾崎 紘和

「日中不在だけれども商品を使いたい。」そんな声が多く寄せられるようになりました。

ダスキンは創業以来、お客様のもとを訪問し、手渡しで商品をお届けするスタイルを貫いてきました。真心もって商品をお渡しし、ご返却の際には使い心地などのご意見をお聞きしたいと考えているからです。

しかし、働く女性の増加とライフスタイルの変化に応じたレンタルサービスが必要になってきました。そこで全国展開をスタートしたのが、「ポスト返却サービス」です。担当者がお客様のご自宅のポストに商品をお届けし、返却はお客様が郵便ポストへ。日中不在でも気軽にレンタルを利用していただくことができます。

お客様のご要望を積極的に取り入れ、ダスキンは成長していきます。

お客様の声をかたちに

安心してドーナツを楽しんでほしい

ミスタードーナツ事業本部 商品開発部 なかさお ゆか 中棹 由香

「アレルギーを気にしないでドーナツを食べたい。」お客さまセンターや、全国各地にダスキンの社長やスタッフがおもむいてご意見を伺う「ミスドファンミーティング」で、そうした声を多くいただいていた。

そこで、小麦や乳、卵などのアレルギー特定原材料を使わない「ふかふか焼きドーナツ[®]」を、ダスキンの品質や安全の厳しい基準をクリアした専用工場で生産し、全国1,300店舗で販売をスタートしました。米粉やタピオカを使って、やさしい甘さや、しっとりした食感を出しているのがポイントです。

アレルギーをお持ちの方は、外食するお店を選ぶときの制限が多いと思います。ミスタードーナツを選択肢に加えていただくことで、お客様のお悩み事の解消に少しでもお役に立ちたいと考えています。

※特定原材料に準ずるものとして、「りんご」を使用しています。

安全・安心・品質

ダスキンは、安全で安心な品質をご提供することを最優先に考えています。

「世界で一番」と思っていたいただける商品・サービスの提供を通じ、暮らしを豊かに、笑顔あふれる社会の実現を目指しています。

品質の取り組み

ダスキンは消費者・お客様に信頼される企業を目指して、品質方針に則り、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供するため、徹底した管理体制の構築・実践に取り組んでいます。

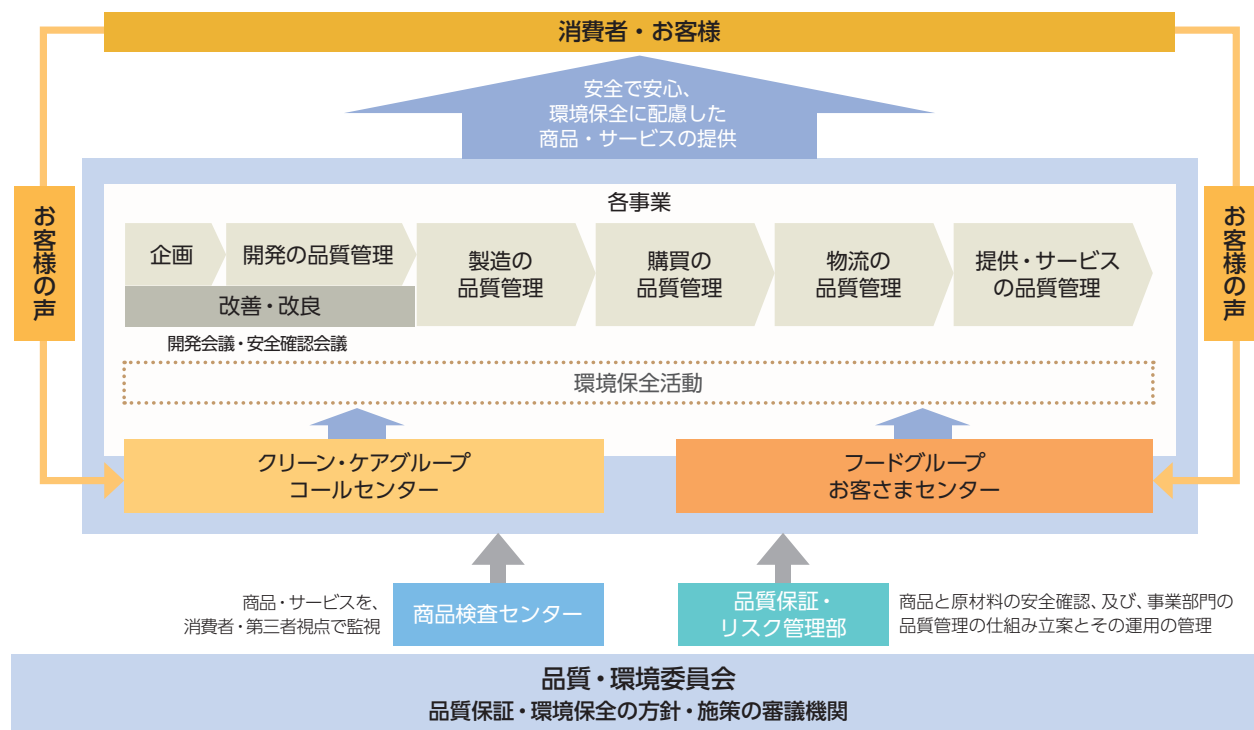
■ ダスキン品質方針

『ダスキンは安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービス、そして楽しさをお手渡しします。』

- ① 商品・サービスは全ての段階（研究、開発、購買、製造、流通、お客様のご使用、廃棄）において安全性を最優先します。
- ② 商品・サービスにおいても環境負荷低減を図って参ります。
- ③ 消費者・お客様の声を誠実にお聴きし、商品・サービスに活かします。
- ④ 法令や社内規程等を順守し、品質保証活動を確実なものとしします。

商品の安全・安心の取り組み

▶ 品質保証体制



食の安全・安心の取り組み

ダスキンが開発するすべての食品は、お客様に安心してお召し上がりいただくために「安全」を最優先に考え、開発から提供、そしてお客様がお召し上がりになる時まで品質基準を設けて、安全を確認しています。

食品安全確認会議

食品の開発や仕様変更はすべて、食品安全管理責任者・商品開発担当部門・品質保証担当部門などで構成される「食品安全確認会議」を開催して、安全性を確認しています。使用する原材料や産地の確認、添加物の合法性、アレルギー情報、異物除去工程の妥当性、残留農薬・抗生物質の検査結果、商品や原材料の保存検査結果、原材料製造委託工場や流通・保管業者の管理状況、そして販売拠点での取り扱い方法を確認して、すべての段階の「安全性」を確認しています。



食品安全確認会議

原材料製造委託工場の監査

新規取引前の監査、製造時の監査、定期監査を行い、継続的に改善・向上を行っています。ダスキンの食品工場専門の監査担当者が、工場の施設管理・工程管理・衛生管理・生産管理にわたる約400項目のチェックを行い、改善指導につなげています。



原材料工場の定期検査（資材倉庫）

流通・保管業者の監査

原材料を保管し、商品や原材料の品質を維持しながら、販売拠点へ配送する段階においても、保管状態・温度管理・期限管理などの運用状況を監査しています。

新規取引や大きな変更の場合は食品工場専門の監査担当者が、改善確認や日常のチェックは各事業部門が実施しています。

販売拠点での衛生管理

ミスタードーナツをはじめとするフード事業の店舗では、日々の清掃の徹底と原材料の管理ルール・品質管理のルールを設け、日常的に徹底した衛生管理を行っています。また、外部検査機関による定期衛生検査を行い、評価と専門的見地からの改善指導を受け、総合的な衛生管理状況の改善サイクルを回しています。

商品の安全・安心の取り組み

お客様に安全で安心な商品をお届けするために、商品の開発から市場導入までの品質について安全確認会議などで審議・改善指示を行うとともに、消費者視点からのチェックを担う社外取締役や社内第三者部門などが参加する開発会議を経て市場導入しています。また、導入後の商品に対しては、定期・不定期に流通品の品質確認を行い、定めた品質の維持に努めています。



各種検査装置、ロボットを使った耐久性、非破壊試験

お掃除サービスの安全・安心の取り組み

ご家庭や事業所向けの各種役務サービス（清掃、家事代行、害虫駆除、お庭の樹木定期管理などのサービス）は、スタッフ一人ひとりが安全で安心なサービスをご提供できるよう使用する資器材や薬剤なども含めた安全確認を実施しています。また、役務サービスの実施にあたっては、作業者の品質スキルを保持するための研修・社内コンテストなどに取り組み、サービス品質レベルの保持・向上に日々努めています。



テクニカルコンテストの様子



資器材や薬剤の安全確認

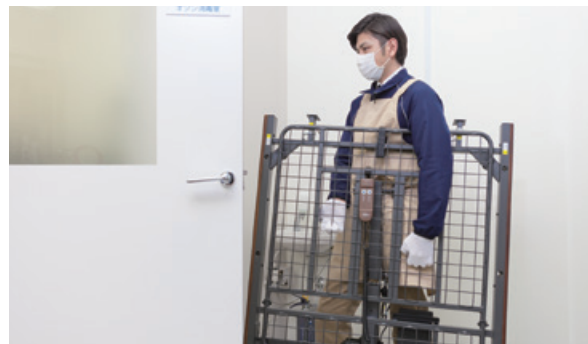
総合レンタルの安全・安心の取り組み

レンタルからご返却いただいた商品は、洗浄・消毒、メンテナンス、機能や安全性のチェックなどにより徹底して管理することで、次のお客様にも安全・安心と快適さをお届けしています。

法令により衛生管理の定められた福祉用具は、除菌・脱臭効果があるオゾンにより消毒するなど、適切な消毒と保管をしています。



車いすのフットペダルの洗浄



介護用ベッドの本体フレーム部分の殺菌(オゾン燻蒸による殺菌)

お客様の声を反映させる取り組み

ダスキンは、お客様の声を取り入れることで、ライフスタイルや社会情勢の変化に柔軟に対応したビジネスモデルの構築や、お客様のニーズを捉えた商品・サービスの提供に取り組んでいます。

改善の取り組み事例 ドラム式洗濯乾燥機クリーニングのサービス開始

コールセンターには、ドラム式洗濯乾燥機のニオイと乾燥時間に関するお問い合わせが多く寄せられていました。

ニオイは薬剤で除去し、乾燥時間については、洗濯槽の細かなすき間などの繊維くずを除去するといった技術を開発。2014年10月より、このドラム式洗濯乾燥機クリーニングのサービスを開始したことで、二槽式洗濯機以外のほぼすべての国内メーカー製洗濯機のクリーニングが可能となり、お客様のご要望に幅広くお応えできるようになっています。



ドラム式洗濯乾燥機

改善の取り組み事例 ミスドファンミーティングの開催

お客様の声をより近くでお聞きするため、2014年5月よりミスドファンミーティングを開始しました。

社長やミスタードーナツ事業スタッフが月に1回、都道府県単位で会場を訪問し、参加者の皆様と直接、意見交換するほか、ミスタードーナツの歴史や、取り組みなどを紹介しています。参加者の皆様からは、「以前販売していたドーナツを復活させてほしい」「低カロリーや、低アレルギーの商品を販売してほしい」といったさまざまなご意見・ご要望が寄せられており、ミスタードーナツのサービス・商品の改良・改善に活かされています。

2014年度は、全国11都道府県で開催し、619人のご参加をいただきました。



ミスドファンミーティングの様子

消費者団体との懇談会

2014年10月2日に「消費者懇談会」を開催しました。これは、消費者を代表される方々の声を聞き、今後の経営に活かすことを目的とするものです。

最初の開催である2006年から数えて8回目となった今回、消費者団体など7団体の関係者12名とダスキンの役員、社外取締役などが参加し、クリーン・ケアグループのサービスと人材育成について、研修施設の見学を交えてご説明しました。

今後も貴重な意見交換の場として継続して開催していく予定です。



消費者懇談会の様子

サプライチェーン

ダスキンは、取引先企業との相互理解と信頼関係に基づいた取引を行うため、広く国内外の企業に対して門戸を開き、信義・公正・公平・機会均等の原則に立つとともに、法令・社会規範を順守した調達活動にあたっています。

品質の保持と環境への配慮

調達先との取引開始にあたっては、ダスキンの経営理念にご賛同いただき、しっかりとした経営哲学を持ち、品質の管理・保証体制が確立していること、環境や廃棄における法令を順守し、リサイクルに積極的に取り組んでいることなどを条件とさせていただいています。

また、独自のチェック項目に基づき取引先企業に自己評価していただくとともに、ダスキンの担当者が取引先企業に訪問して、現場を直接確認しています。

取引先企業とのパートナーシップの強化

取引先企業とのパートナーシップの強化を図るためには、ダスキンの考え方をご理解いただくことが重要と考えています。その一環として、ダスキンでは、品質方針やコンプライアンスの取り組みとともに、当年度の事業計画（開発・販売促進・購買物流計画）の情報を共有するために、『お取引先様勉強会』を毎年開催しています。2014年度は、クリーン・ケアグループが、2015年3月25日に246社、ミスタードーナツ事業本部では、2015年3月27日に86社の取引先企業の皆様に参加いただきました。



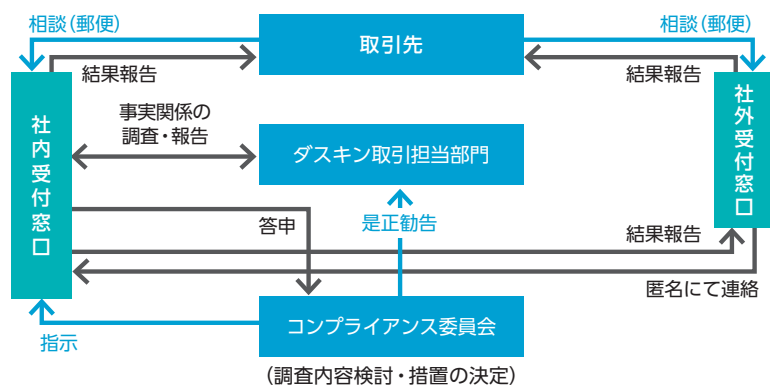
お取引先様勉強会の風景

「ダスキン購買クリーンライン」の設置

取引先企業向け「ダスキン購買クリーンライン」は、役員や社員がダスキン行動基準に違反したり、法令や社会倫理に照らし合わせて疑問に思われる行動を取ったりした場合に、取引先企業の皆様から、それをご指摘いただく窓口です。氏名や内容等プライバシーを含む一切の事項は厳守され、この制度を利用される取引先企業の皆様が不利益を受けることは決してありません。

この制度を通じて、取引先企業の皆様との取引の透明性・公平性を高め、より深い信頼関係を築くことを目指しています。なお、2014年度の利用者数は0件でした。

▶「ダスキン購買クリーンライン」の流れ



研究開発活動

ダスキン企業集団では、主に当社が提供する商品・サービスに関連する清掃及び洗浄関連商品と加工技術の研究開発に取り組んでおり、品質・環境対策を重視した活動を行っています。また、当社が提供する商品・サービスの開発段階における安全性、信頼性、使用価値性、環境への影響についての検査・試験などの商品検査活動に取り組むとともに、法令上の確認や商品表示などの検査も行っています。

研究開発方針

消費者に対して当社が届けるトータルクリーンケアに関する商品・サービスについて、安心かつ信頼のおけるダスキンプランドの確立を目指しており、基盤技術深耕、新商品開発、商品の品質向上及び環境対策を中心とした研究開発活動に取り組んでいます。

- 消費者の立場に立ち、本物志向の商品開発技術を確立する。
- 消費者のニーズ、変化を迅速かつ的確に把握して業界の先取りを行う。
- 商品・サービスに関連する基盤技術の研究を行う。
- 商品、技術に関する情報を即座に収集分析し、旧来の枠にとらわれない新しい技術を積極的に導入する。
- 商品の機能、性能のほかに、安全・安心はもとより、人体及び環境に限りなくやさしいことをテーマとして追及する。

また、当社の主力はレンタル商品であり、商品を繰り返し使用することで、資源の有効活用ができ、環境配慮と商品原価の低減が図れます。使用回数を延ばすことを目的として、使用済みレンタル商品の加工工程、薬剤などの研究にも取り組んでいます。

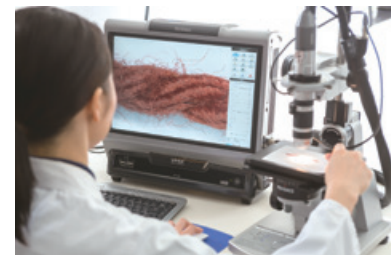
商品検査方針

消費者に対して当社が届けるすべての商品・サービスについて、安心かつ信頼のおけるダスキンプランドを確立するために、顧客満足、生活者保護、遵法性、環境保全の4つの視点で、「外観、構造、成分における安全性」「性能、効果」「使い勝手」「信頼性、耐久性」「表示の適正性」についての商品検査及び分析・衛生検査業務を行い、お客様満足の追求を行っています。

研究開発における主な取り組み

●モップ商品関連の研究

ホコリの発生源や健康への影響を調査し、「ホコリをたてずにホコリを取る」という掃除方法や、ホコリの種類に応じた素材を開発してモップの機能性を高める研究をしています。本来は廃棄する紡績工程の短い繊維くずを有効活用することで環境にやさしいエコ素材の研究や、モップに付着したダニなどのアレル物質の活動を抑制する吸着剤の研究もしています。



モップで使用される繊維素材の研究

●マット商品関連の研究

ダストを除去するための繊維の配合率などや、新しいマットの使用方法、機能素材の研究を行っています。また、商品の再生率を高める研究や、マットに含まれる繊維・ゴムを軽量化して、限られた資源を有効に活用する研究をしています。



アレル物質を抑制する吸着剤の研究

特集2 | ダスキンの人材育成の取り組み

技に心がともなった人材を育てるために

お客様一人ひとりにとって最高の商品・サービスを提供していきたい。

そんなダスキンの思いを実現するためには、商品・サービスをお手渡しする人材の育成がとても大事だと考えています。今回は、ダスキンの事業の柱であるクリーン・ケアグループとフードグループの人材育成の取り組みをご紹介します。

衛生管理のプロフェッショナルを目指して

お客様の事業に最適な衛生環境づくりをマネジメントするハイジーンマスター。飲食店では厨房内の汚れを測定器で数値化し、冷蔵庫の温度管理など20項目をチェック。現状の把握と問題点の改善、改善効果の維持に役立つ調査報告書を作成し、衛生リスク予防のアドバイスを行っています。

研修施設のダスキンスクール及び各地域研修センターで、衛生管理の知識を基礎から徹底的に学びます。ロールプレイングを何度も繰り返し、お客様の店舗診断にも講師が同行して、実践的なノウハウを身につけます。

例えば、害虫にお悩みのお客様には、「厨房内に段ボールを放置すると、害虫の発生源になりやすいので、撤去しましょう」と助言するなど、お客様の衛生状況に合わせた提案が行える人材を育成しています。



お客様のお困り事を最優先

お客様のお役に立つことを追求して信頼関係を構築した結果、ダスキンのマットをレンタルしたいといったご相談を頻繁に受けるようになりました。この体験を支店やエリアで共有して、お客様のお困り事を最優先に考えるスタッフを一人でも多く増やしていきたいと思ひます。

きたはま ゆうき
ダスキン 三津屋北支店 営業 北浜 悠樹

事業部別研修 ダストコントロール

- 免許取得研修
 - ・支店長免許取得研修
 - ・営業部長免許取得研修
 - ・業務担当免許取得研修 ほか

- 職位別研修
 - ・エリアマネジャー基本研修
 - ・エリアマネジャースキルアップ研修

事業部別研修 ケアサービス

- ライセンス取得研修
 - ・サービスマスター基本アカデミー(17日間)
 - ・ターミニックス基本アカデミー(14日間)
 - ・トゥルグリーン基本アカデミー(16日間)
 - ・メリーメイド基本アカデミーコース(7日間) ほか

- ライセンス更新研修
 - ・各事業3年ごとに受講(更新)

ダスキンの数字

ダスキンでは、清掃サービスや害虫駆除など、さまざまな分野のプロフェッショナルを育成しています。その研修時間は年間34,268時間。一人当たりだと、13.2時間にもなります。

クリーン・ケア 34,268 時間
(1人当たり13.2時間)

ミスタードーナツ 49,146 時間
(1人当たり13.6時間)

ダスキンの数字

ミスタードーナツの店主のライセンスは、2年ごとに更新しなければなりません。緊張感を持って、お客様のためにスキルを磨き続けないと、免許を更新することができないのです。

ライセンス 2 年更新

理想の店舗づくりをするために

ミスタードーナツでは、店主になるために、厳しい試験を乗り越えてライセンスを取得することが必要です。新規加盟の場合は、49日間のカリキュラムで、経営理念やショップ運営基準を習得します。店主のライセンスを習得する16日間のカリキュラムでは、ドーナツの作り方を基礎から学び直すとともに、全国から集まった仲間とディスカッションを繰り返しながら、店舗運営のノウハウを徹底的に身につけます。

終盤の店舗運営実習が一番の難関。仲間と役割分担し、分刻みのスケジュールを立てて臨みます。接客の様子などを録画し、お互いの良い点や反省すべき点を指摘し合い、店主になる心構えを磨いていきます。



笑顔あふれる店舗づくりを目指して

お客様に「楽しい、居心地の良いお店」と感じていただくには、店舗のスタッフが楽しく、いきいきと働けることが大切です。「もっとお店を良くしたい」という声がスタッフ一人ひとりから活発に出てくる雰囲気を作り、お客様にもスタッフにも笑顔があふれる店舗を目指していきたいと考えています。

きたはま かずや
ミスタードーナツ 川崎母子口ショップ 副店主 木下 和哉

事業部別研修

ミスタードーナツ

- ライセンス取得研修
 - ・アカデミー(新規)コース(49日間)
 - ・アカデミーコース(16日間)
 - ・免許証更新コース
 - ・運営担当者コース
 - ・キャディットマネジャーコース
 - ・シフトマネジャー認定講習会

- 職位別研修
 - ・代表者変更研修会
 - ・直営店主研修
 - ・本部スタッフ研修
 - ・エリアマネジャー研修 ほか

人 材

ダスキンは、あらゆるサービスの基本は「人」だと考えています。

技と知識に心がともなった人材を育成するとともに、多様な価値観をもった人材の個性を尊重し、能力を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

人事基礎データ

		2013年3月末 時点	2014年3月末 時点	2015年3月末 時点	備考
社員数(人) ^{※1}	男性	2,240	2,291	2,306	正社員、非正規社員の人数 (役員、臨時社員を除く)
	女性	1,272	1,261	1,181	
入社人数(人) ^{※1}	新卒	27	37	24	正社員の入社人数 海外現地採用社員を含む
	中途採用	114	123	118	
正社員への登用人数(人) ^{※1}		22	18	28	非正規社員からの登用人数
退社人数(正社員)(人) ^{※1}		105	123	115	正社員の定年退職者を除く
労働災害(人) ^{※1}	死亡	0	0	0	
	重度	42	27	47	4日以上休業を伴うもの
	軽度	187	194	185	3日までの休業を伴うもの
組合加入状況 ^{※1}	人数(人)	2,977	2,993	2,989	
	率(%)	100	100	100	
全社研修： 1人当たり年間研修時間(時間) ^{※1}		5.7	12.0	6.9	事業部別研修(年間約13時間)を除く
社員意識調査の評点 ^{※2}		—	—	3.83	5点満点(3年間継続実施予定)

※1 ダスキン及び子会社(連結対象)

※2 ダスキン単体

正社員への登用制度

社員がいきいきとやりがいを持って働き、企業として活性化していくためには、スキルや意欲の高い人材を積極的に登用し、能力や経験を十分に発揮できる環境づくりをすることが重要です。

ダスキンでは、一定の基準を満たした非正規社員を正社員化する制度を設けています。今後は対象となる社員の範囲をさらに拡大し、人材の活用を進めていきます。

社員意識調査の実施

この調査は、社内風土改革の一環として、様々な角度から職場の風土や活性度を測り、より良いダスキンをつくることを目的に実施しています。

今後は、経年で調査することにより、風土の変遷を可視化するとともに社員意識施策の指標にします。分析結果は社内報などを通じて共有し、会社一丸となって社員意識の向上に取り組んでいます。

人材育成

教育研修制度

ダスキンは、「祈りの経営」の経営理念を理解し、すべての行動の源とできる人材を育成するため、さまざまな教育や研修を推進しています。一人ひとりが必要な知識やスキルを習得し、役割を効果的に果たせるように、新入社員を含めて階層別に研修を実施しているほか、加盟店を活性化するエリアマネジャーの育成にも注力しています。また、公的資格の取得や通信教育による自己啓発を奨励し、自主的に学ぶ姿勢を大切にしています。

▶全社教育体系図

階層	階層別	職位別	全社			事業部別			自己啓発						
管理職	上級マネジメント	エリア マネジャー 研修	理念浸透教育	6σ ワークアウト（業務改革） 研修	コンプライアンス研修	ダスト コントロール		ケア サービス	ミスター ドーナツ	自己啓発サポート（通信教育）	資格取得奨励制度				
	マネジメント														
リーダー職	リーダー（主幹）					店長研修	職位別研修	免許取得研修	ライセンス取得・更新研修			職位別研修	ライセンス取得・更新研修		
	リーダー（主任）														
	リーダー（チーフ）														
	3年次見直し														
育成	半年/1年次/2年次 見直し														
	一燈園智徳研修														
	新入社員研修														

ダスキンスクール

ダスキンの全事業を対象とした教育センターで、全国各地域で事業を展開する加盟店のオーナーやスタッフ、マネジャーが、経営理念から運営ノウハウまで総合的に学ぶための施設です。経験豊富な教育スタッフと広範な研修カリキュラムがそろっており、充実した設備のもと、知識と技術を習得する場となっています。



地域研修センター

お客様に信頼していただくためには、優れた商品やサービスの開発とともに、お届けするスタッフが専門的な知識をもつ必要があります。ダスキンは全国に11カ所の地域研修センターを設置し、サービス・技術向上を目指し、地域の市場特性にも合わせた研修を繰り返し行っています。



地域研修センターでの研修風景

ミスタードーナツカレッジ

ドーナツ製造、接客技術はもとよりミスタードーナツの理念やお客様を大切にすることを学ぶための施設です。食品や衛生に関する知識や製造品質管理、店舗の維持管理まで、研修に参加しているメンバーでチームを組み、実習を中心とした教育で徹底的に身につけていきます。一定基準を満たした者だけが、全国のショップで責任者として勤務することができます。



ミスタードーナツカレッジ研修風景

ワークライフバランス

ワークライフバランスの推進

ダスキンの社章はDUSKINの頭文字「D」と幸福のシンボルである「よつ葉のクローバー」をデザインしたものです。よつ葉のクローバーには社員が「仕事・家庭・趣味・信仰(感謝と反省の心)」を持ち、幸せな人生が送れるようにとの願いが込められています。



次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画

●ダスキン行動計画(第3期) 2011年4月1日～2015年7月31日

社員が仕事と子育てと家庭生活を両立することができ、かつ各個人の持てる能力を最大限発揮し、適正な評価を受けられる環境を構築し、やる気と達成感・満足感を高められるよう、第3期行動計画を策定し推進しています。

行動計画1 長時間労働の是正のための取り組みを実施する

- ・ノー残業デーを継続して実施、さらに浸透できる仕組みを検討する。
- ・仕事の優先順位、タイムマネジメントなど、業務の進め方に関する社員の意識改革・教育を行う。

行動計画2 ワークライフバランス推進のための取り組みを実施する

- ・計画有給休暇取得推進制度の継続実施による有休取得推進を行う。
- ・家族参観日を継続して実施し、職場の同僚や上司と家族が交流できる場の提供を行う。

*各行動計画の施策の一部を抜粋しています

行動計画3 仕事と育児・介護の両立支援制度の活用推進に向けた取り組みを行う

- ・妊娠・育児・介護中の部下を持つ上司・職場の意識改革のためのしなげを検討する。
- ・男性の子育て参加の機会を増やす取り組みを行う。

行動計画4 男女が固定的な役割にとらわれず、共に社内での対等なパートナーとして能力を発揮できることを目指す。

- ・女性対象のサービス・組織は女性が開発・運営できるよう、女性の感性を生かすための体制整備と教育の強化を図る。

仕事と育児・介護の両立支援制度

ダスキンでは、急速に進む少子高齢化社会などの社会課題の解決に貢献するため、社員の育児・介護休業などの制度を整備し、仕事と家庭の両立を支援するための取り組みを進めています。

妊娠中もしくは小学校6年生までの子どもを育児中の社員、家族の介護が必要な社員に対しては、就業開始時間を最大1時間30分まで前後に変動できる「よつ葉シフト」制度を取っています。また、育児や介護などの理由でやむを得ず退職した社員が復職できる「よつ葉Dターン」制度も設けています。

育児中の社員に対しては、子どもが3歳になるまで勤務時間を短縮できる制度や、この制度で3歳までに取得しなかった分を残している場合に小学校1年生の年度末まで分割して取得できる制度なども導入しています。家族の介護が必要な社員に対しては、介護休暇・休業制度のほか、未消化の有給休暇を積み立てていく積立有給などを活用して、介護しやすい環境を整えています。

		2013年3月末 時点	2014年3月末 時点	2015年3月末 時点
1人当たり年間総労働時間(時間)		1,945	1,955	1,944
有給休暇取得率(%)		48.5	49.6	50.7
育児休業取得者数(人)	男性	0	0	0
	女性	33	30	27
介護休業取得者数(人)	男性	1	0	1
	女性	0	4	0

*ダスキン及び子会社(連結対象)



よつ葉Dターン(復職制度)

ダイバーシティ

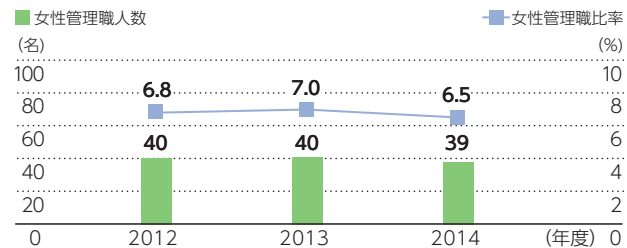
女性の活躍推進

女性の活躍推進は日本企業において共通の課題であり、ダスキンにおいても、性別を問わず登用することが企業成長には不可欠であると考えています。

また、ダスキンの事業は女性のお客様のご利用が多いことから、女性の立場や目線に立って、より便利で快適な商品・サービスを提供することが重要です。

そこで、女性の感性を活かした商品開発や広告展開などを積極的に行うほか、地域本部では、加盟店指導を行う女性のエリアマネジャーの登用も進めています。

▶女性管理職人数・比率



*ダスキン及び子会社(連結対象)



女性エリアマネジャーとして加盟店をサポート

定年退職者の再雇用制度

高齢化が進む日本では、社会保障制度の変更などにより、定年退職後も働く機会を得られるようにすることが求められています。また、労働力不足を補うとともに、社員が長年蓄積した知識や経験を次世代に承継していくことも社会課題となっています。

ダスキンでは、60歳の定年後も、最長で65歳まで再雇用する制度を導入しています。原則として定年時に勤務していた部署での仕事を継続することで、経験を活かし、能力が発揮しやすい環境を整えています。

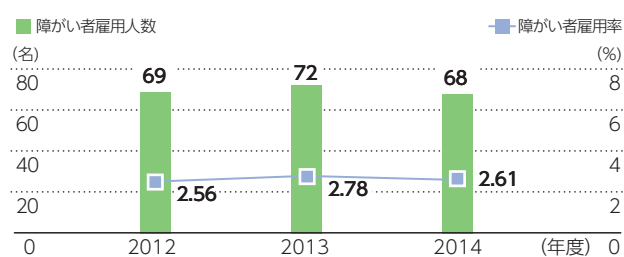
障がい者雇用の促進

働くことのできる障がい者の方に、それぞれに合った働き方を提供することも、企業の社会的責任だと考えています。

ダスキンは1981年から「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」を通じて、障がい者の方が先進の福祉を学ぶ機会を支援する活動を行っているほか、障がい者の方がいきいきと働くことのできる雇用の場を提供し、定着を図っています。

こうした取り組みが評価され、2014年度「障害者雇用優良事業者等の厚生労働大臣表彰」を受賞しました。これからも障がい者雇用の推進に積極的に取り組み、すべての人が心豊かに暮らせる社会づくりの実現に貢献していきます。

▶障がい者雇用人数・雇用率



*ダスキン単体



厚生労働大臣表彰の授賞式

特集3 | ダスキンの環境の取り組み

地球温暖化防止のために

ダスキンの主な事業は、モップやマットのレンタルと、フード事業のミスタードーナツ。
ダストコントロール事業を支える生産事業所の一つ、道央中央工場では、
モップやマットを再生加工するために使用するボイラー燃料に、
ミスタードーナツでドーナツを揚げたオイルを活用する取り組みを行っています。
私たちは、これからもオールダスキンの環境問題に向き合っていきます。

ドーナツオイルの活用

ダスキンが創業からずっと大切にしてきたのは、循環型レンタルシステム。モップやマットなどの商品を定期的に回収し、生産事業所できれいに生まれ変わらせてから、またお客様にお届けしてご利用いただいています。

ダスキン道央中央工場では、北海道の広いエリアのレンタル商品を回収して再生加工しています。商品を洗濯し、乾燥させる工程では、ある一定量の燃料が必要。そこで取り組みを開始したのが、従来の燃料のほかに、同じダスキンの事業であるミスタードーナツで使用したオイルを利用するというものでした。

生産事業所とミスタードーナツ。ダスキンの異なる事業同士のコラボレーションによって、地球温暖化の原因であるCO₂の排出削減となる化石燃料の使用抑制につなげることができました。

活用の幅を広げたい

ミスタードーナツのオイルを買い取って利用するにあたり、かえってガソリンなどの燃料が増えては意味がありません。今後は、この活動をほかにも拡大していくことが可能か検証を行いつつ、多様な省エネルギー活動を行っていきたいと思っています。

ダスキンプロダクト北海道 道央中央工場 製造部長
おいかわ とおる
笈川 透



ダスキンの数字

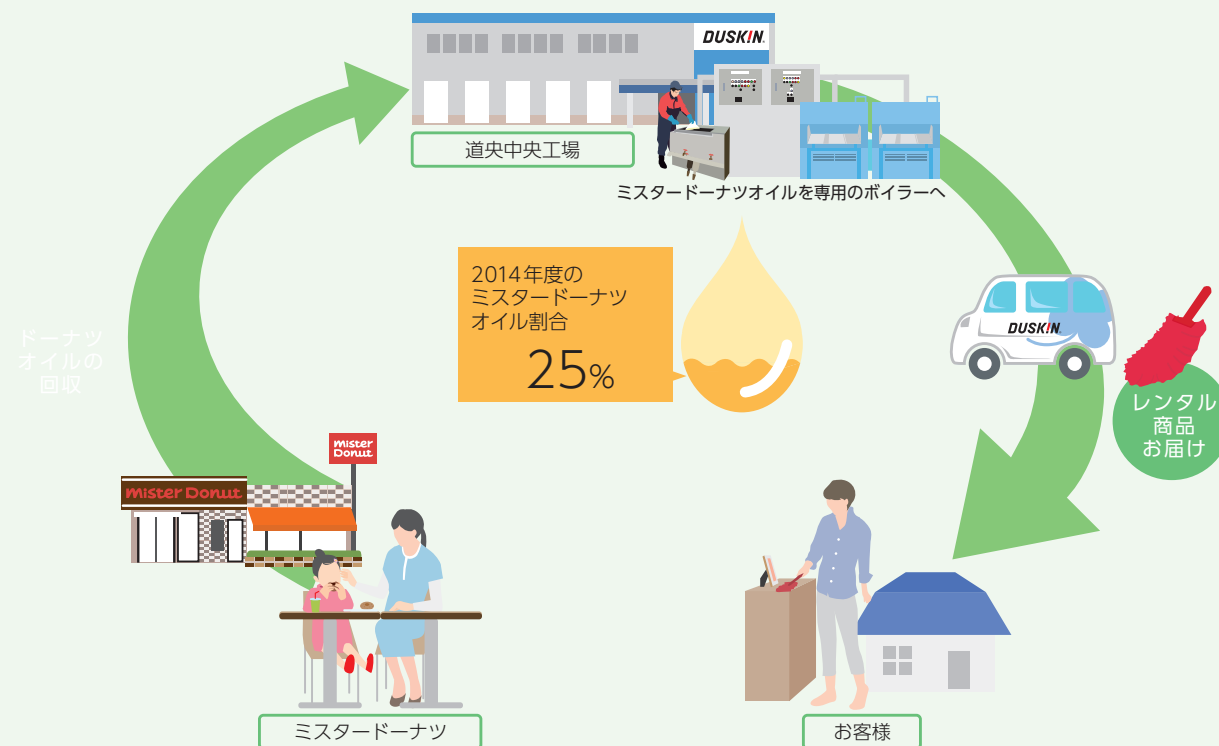
ミスタードーナツオイルの活用度

道央中央工場で使う燃料のうち、ミスタードーナツのオイルの割合は実に25%を占めます。
この取り組みのために専用のボイラーを導入しています。

25%

工場の専用ボイラーで 燃料として活用

固形で届いたオイルは80℃ほどに加熱して溶かし、専用のボイラーへ。高温の蒸気を発生させることで、汚れを効率的に落とすための洗濯用水をお湯にするほか、乾燥機の熱源としても活用しています。この洗濯機の1日の加工量は、一般的な家庭用洗濯機の1,500回分に相当します。



ミスタードーナツでオイルを集める

ドーナツを揚げた後のオイルを集めます。オイルは冷えて固形となり、運びやすくなった状態で、箱詰めされて工場へ。ミスタードーナツではオイルの品質を厳しくチェックしながら、無駄なく使用するためにオイルの使用量を最適化する取り組みも行っています。

生まれ変わった商品がお客様の手元へ

洗濯・乾燥の終わったマットやモップなどの商品は、丁寧に検品・梱包され、お客様のお手元に、再び届けられます。再商品化される割合はなんと約96%。商品を繰り返して使うことで、廃棄物の削減や省資源化につなげています。これが、ダスキンの掲げる「4つのエコ」のひとつ、「くりかえし使うエコ」の取り組みです。

環 境

ダスキンは、循環型のビジネスモデルである清掃用具のレンタル事業で創業し、今日まで歩んできました。
活動領域が大幅に広がった今も、地球環境に配慮した事業の推進に取り組んでいます。

環境マネジメント

ダスキン環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

① 環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択

原材料の調達から商品の製造、お届け、お客様によるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。

② 環境負荷が少ない工場稼働

省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。

③ 環境負荷が少ない物流と営業・販促活動

ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組みます。環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

④ 環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備

省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

⑤ 環境負荷が少ない社会づくりへの貢献

法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。

ダスキンの環境宣言

1998年に「環境理念」「環境方針」を制定し、翌1999年からはISO14001の認証取得に向けて活動に取り組みました。2008年には「環境宣言」を制定し、引き続き全社的な環境への取り組みを進めています。

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、
ものを大切にしてきたダスキンは、
地球の未来を大切にするため、
くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、
これらの視点で、商品・サービスの開発、
生産、お届けから使用後までの
企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。
ダスキンは、身近なところから未来にむかって、
エコロジーを育てていきます。



ダスキンの「4つのエコ」の取り組み

くりかえし使うエコ

モップやマットなどのレンタル商品は、お客様先で使用された後、再商品化し繰り返し活用しています。循環型の事業活動で、お客様先のキレイをサポートしています。

減らすエコ

お掃除サービスや害虫駆除サービスでは、人と環境への負荷ができるだけ少なくなるよう、薬剤と施工法を常に工夫しています。

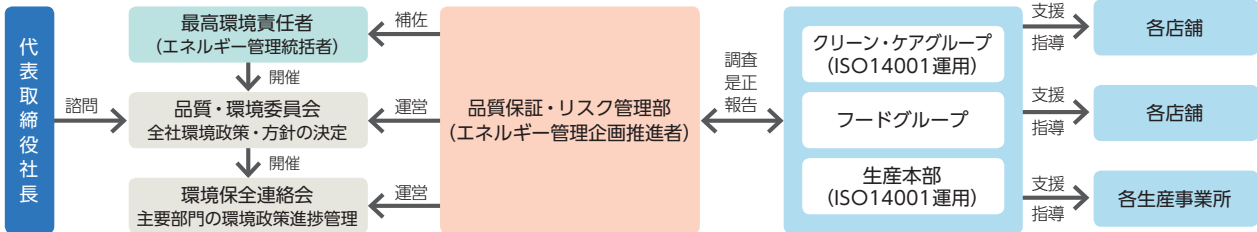
みんなで使うエコ

所有ではなく皆で共有することで、資源を有効活用しています。レントオール/ヘルスレントでは、ベビー用品や旅行用品、介護用品・福祉用具など、お客様の必要なときに必要な分だけご使用いただくレンタル事業を展開しています。

捨てないエコ

ミスタードーナツでは、1974年より、陶器・ガラス製の食器を使用しています(フードコートのお店などは除く)。できるだけ使い捨て製品の利用を減らすことで、ゴミの排出を抑えています。

環境管理体制



環境教育

新人社員の入社時研修の一つとして、環境に関する初期教育を実施しています。環境問題や、企業における環境取り組み及び情報開示などについて学び、ダスキンの事業活動を通じてどのようにして環境に貢献していくかを考え、全員で確認しています。
環境に関する意識を高めつつ、環境経営を推進する人材の育成に取り組んでいます。



環境教育研修の実施

ISO14001の認証取得状況

1999年から、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得に向けて取り組みを開始し、5つの事業で認証を取得しました。その後、2013年にフードグループにおいて認証を返上しましたが、引き続き環境保全活動に取り組んでいます。

初回登録日	登録範囲
2000年3月 3日	生産本部、生産事業所
2001年3月30日	クリーン・ケアグループ (ダストコントロール事業：本部/加盟店)
2001年4月27日	クリーン・ケアグループ (ケアサービス事業：本部/加盟店)
2001年7月26日	レントオール事業/ヘルスレント事業：本部と全拠点

環境データ

ダスキンは創業以来、レンタルシステムによりお客様へ商品をお届けしています。
ものを大切にするという考え方はすべての事業活動に共通した概念であり、みんなで使う・くりかえし使う・減らす・捨てないという4つの視点から環境負荷低減への取り組みを継続・推進し、なかでも「CO₂削減」「廃棄物削減」「水の保全」をテーマに、中期的な目標を掲げ取り組んできました。

取り組み内容		2014年度目標	2014年度の実績	評価
CO ₂ 削減	生産本部 工場のCO ₂ 排出量	45,800t-CO ₂ 以下	43,822t-CO ₂	★★★
	生産本部 工場加盟店間の商品配送車のCO ₂ 排出量	9,600t-CO ₂ 以下	10,015t-CO ₂	★★
	ミスタードーナツ事業 一店あたりの月間電気使用量	8,540kWh以下	7,963kWh	★★★
廃棄物削減	ミスタードーナツ事業 一店あたりの月間ドーナツ廃棄個数	6,300個以下	6,052個	★★★
	ミスタードーナツ事業 廃棄ドーナツの飼料化導入店舗数	550店以上	503店	★★
水の保全	ターミニックス事業 シロアリ駆除サービスの薬剤使用量削減 (ペイト工法による新施工方法導入) *売上原単位	6.6kg以下	6.8kg	★★
	サービスマスター事業 PRTR対象物質を含む薬剤の削減 (PRTR対象物質を含まないアイテムへの薬剤切替)	1アイテム以下	5アイテム	★
ダスキン 企業集団	電気使用量	直営・関係会社合計 3,633万kWh以下	直営・関係会社合計 3,499万kWh	★★★
	コピー用紙使用量	直営・関係会社合計 61.1 t以下	直営・関係会社合計 67.9 t	★

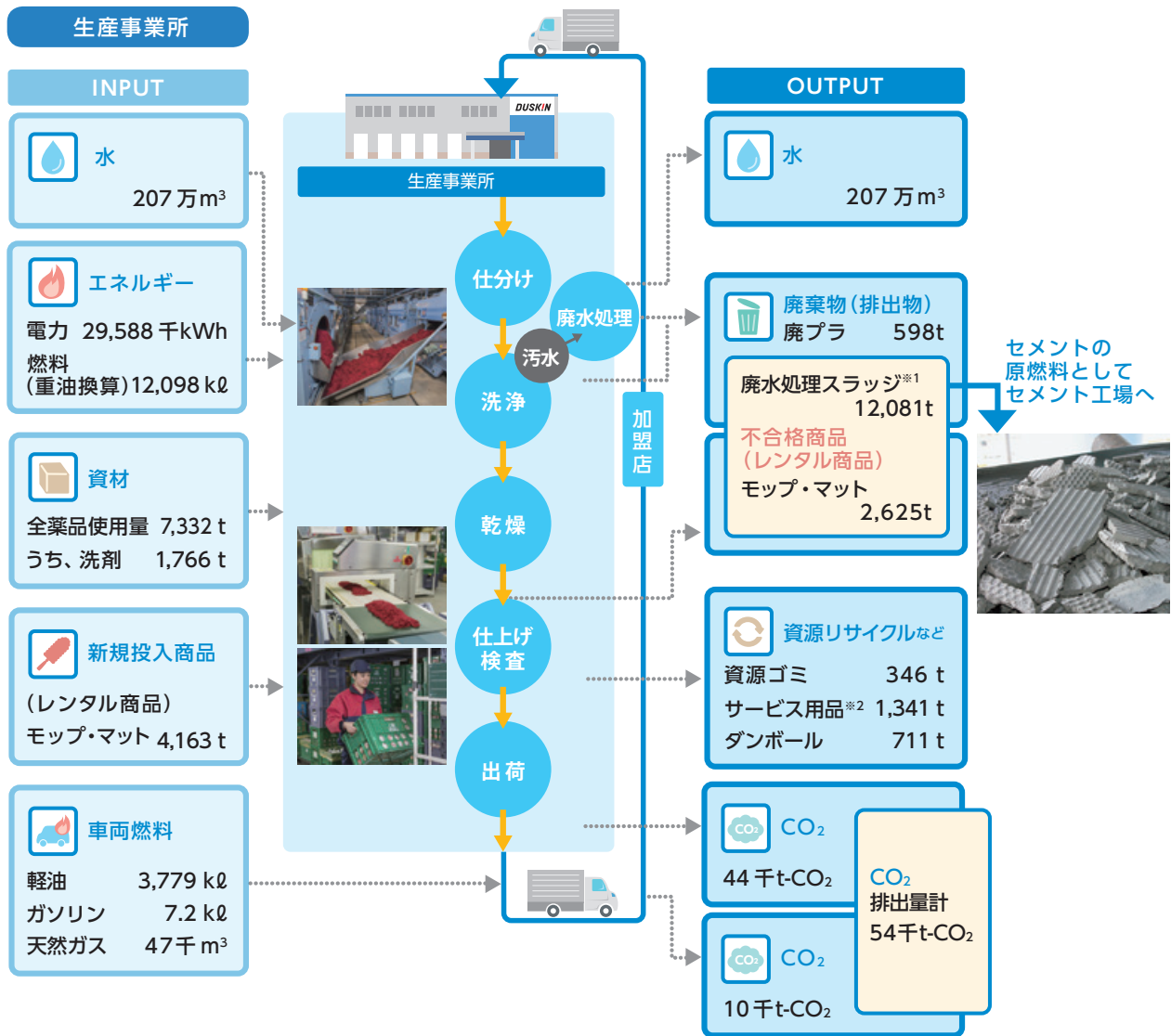
★★★：目標達成 ★★：90%以上達成 ★：90%未満

ダスキン環境保全活動のあゆみ

1963年	●ダスキン創業 ●クリーンサービス事業開始 (化学ぞうきんレンタルのフランチャイズ展開、工場配置)	2000年	●初の環境報告書「グリーンレポート2000」刊行 ●生産本部ISO14001認証取得 ●ミスタードーナツ事業ISO14001認証取得
1971年	●生産事業所への廃水処理設備配置開始 ●ミスタードーナツ事業開始 ●ケアサービス(サービスマスター)事業開始	2001年	●ダストコントロール事業ISO14001認証取得 ●ケアサービス事業ISO14001認証取得 ●レントオール事業ISO14001認証取得
1973年	●全生産事業所に廃水処理設備を導入完了	2002年	●ドーナツの飼料化スタート
1974年	●ミスタードーナツで陶器・ガラス製食器使用開始	2003年	●全生産事業所のISO14001認証取得完了
1978年	●レントオール事業(総合レンタル)開始	2005年	●環境管理規程の制定 ●新・環境方針を制定
1993年	●ミスタードーナツで油のリサイクル処分開始	2008年	●環境宣言制定
1998年	●環境理念・環境方針を制定	2009年	●フードグループ全体でISO14001認証取得
1999年	●ISO14001認証取得を開始	2013年	●フードグループISO14001認証返上
		2014年	●環境報告書「グリーンレポート」からCSR Reportへ発展

マテリアルバランス

レンタル商品のライフサイクル(洗浄・仕上げ・出荷)や、幅広い事業活動における環境負荷の全体像を把握するよう努めています。



※1 スラッジ: 汚水からホコリや汚れを分離して固めたもの
※2 サービス用品: モップの柄・空気清浄機本体・浄水器本体など

ミスタードーナツショップのユーティリティ

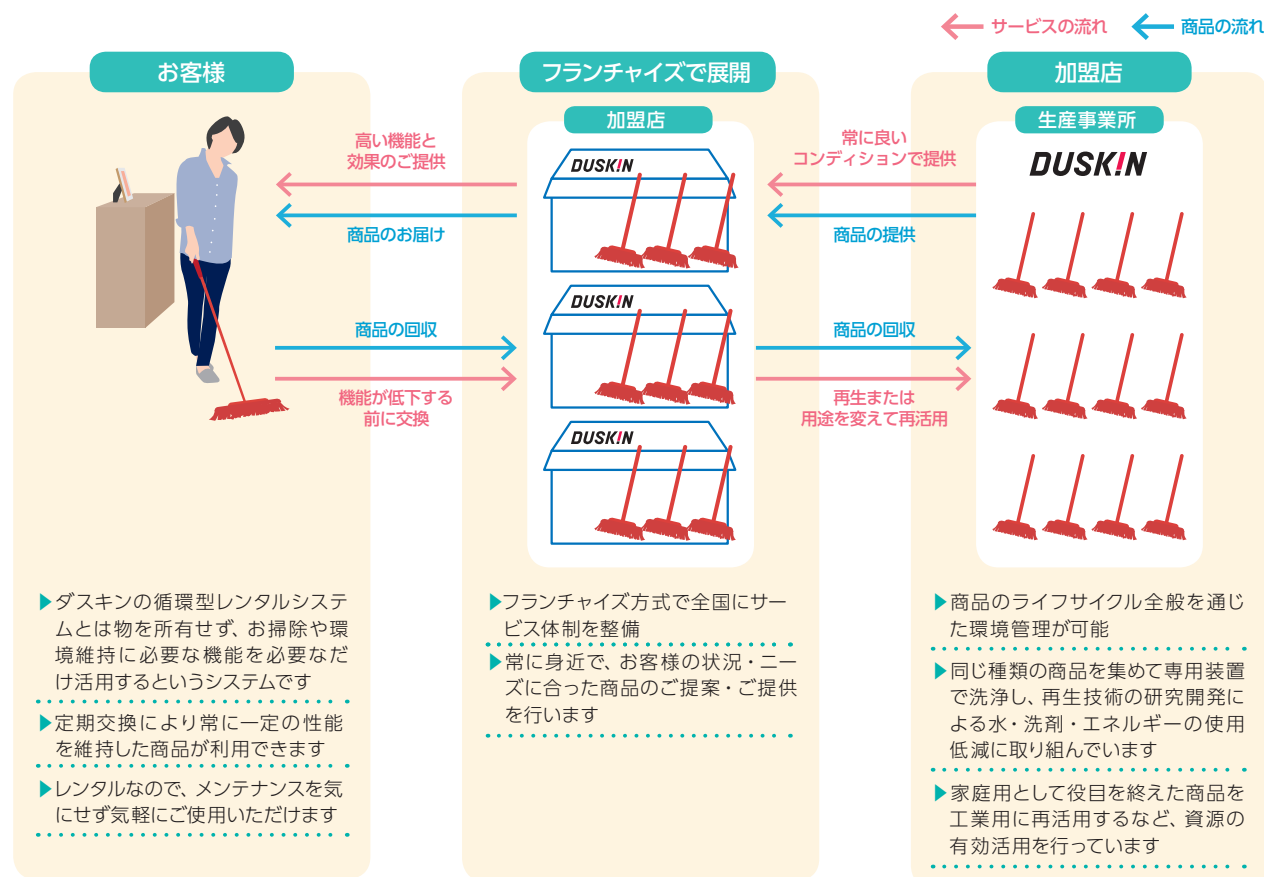


生産事業所での取り組み

ダスキンの循環型レンタルシステム

ダスキンが創業以来取り組んでいるレンタルシステムのメリットは、商品のライフサイクル全体を通じて、ダスキンでしっかりと環境管理ができる点にあります。

商品の開発から、お客様のご利用後の再生、廃棄時のリサイクルまで、環境に配慮した事業展開を推進しています。



このほかにも、新たなレンタルの形態として、「ポスト返却サービス」(p17) などの新たなお客様とのつながりの検証・導入に取り組んでいます。

生産事業所での取り組み

レンタル商品の再生は、生産事業所で行われています。さらなる省エネルギーや省資源の実現を目指し、新たな設備や技術を開発・導入するとともに、ノウハウを全事業所で共有し、環境に配慮したダスキンの循環型レンタルシステムを支えています。



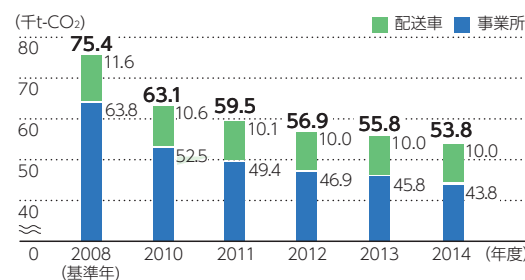
生産事業所

生産事業所での取り組み

CO₂排出量の削減

生産事業所では、省エネ設備の導入や既存設備の定期メンテナンス、設備運転の効率化、節電などの取り組みにより、エネルギーロスの削減に努めています。

商品の配送では、ルートの見直しにより輸送効率の改善を図り、また、ドライバーはエコドライブに取り組んでいます。急発進や急停止の抑制、速度超過の防止が安全運転にもつながっています。

▶CO₂排出量/生産事業所(全国)※1

※1 電力のCO₂排出量換算には電気事業連合会の2008年度の係数を使用しています。

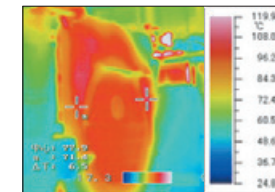
※2 スギのCO₂吸収量は、約14kg-CO₂/本・1年間です。(約1.17kg/本・月) (出典：環境省・林野庁「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」)

省エネルギー化の推進

●放熱ロスの見える化

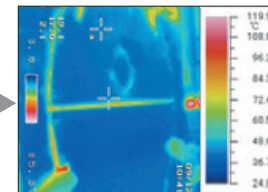
設備の放熱ロスがエネルギー使用量の増加につながることから、乾燥設備や配管などの温度を定期的に確認し、放熱ロスの有無を点検しています。サーモグラフィなどを使うことにより、設備や配管などの保温状態を「見える化」し、一定温度以上の箇所には断熱材を取り付けて、熱の放出を抑える保温の実施に取り組んでいます。

〈実施前〉



乾燥機ドア部の保温効果

〈実施後〉



●太陽光発電システムの導入

地球温暖化や資源、エネルギーなどの環境問題への対策として注目が集まる再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。

研修施設であるダスキンスクールの壁面ガラスの一部に太陽光発電パネルを採用し、2010年から発電をスタートしました。2013年には大阪中央工場で太陽光発電システムを導入し、約350枚のモジュールを設置して、最大出力100kW規模の発電を行っています。



大阪中央工場屋上に設置された350枚のモジュール

年間発電量
約10万
kWh

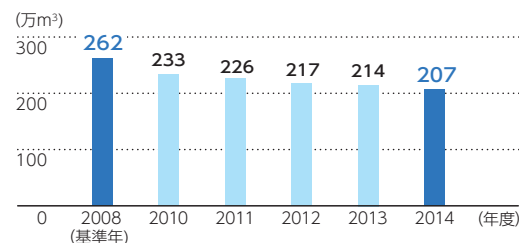
※家庭一世帯あたりの全消費電力量
4,734kWh/年
(出典：一般財団法人省エネルギーセンター
「待機時消費電力調査報告書」)

水資源の有効活用

●工場用処理水の再利用

モップやマットの洗浄工程では多量の水を使用します。使用後の汚れた水は社内の廃水処理ライセンス取得者による管理のもと、工場内で水処理を行い、法令基準よりも厳しい独自の排出基準に適合させて放流します。この処理水の一部を再び洗濯水として利用することで、水の使用量削減に取り組んでいます。また、洗濯工程で使用する水に特殊な処理を行なうことで洗浄やすすぎに適した水質とし、洗剤の使用量を削減しています。

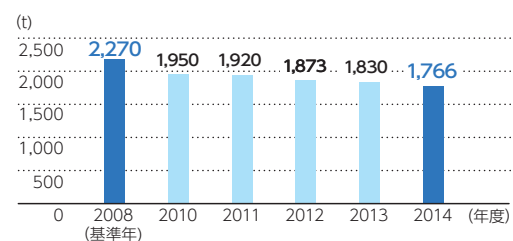
▶水の使用量



※小学校の25mプール（縦25m×幅10m）に水深1mまで水を入れた水量250m³で算出



▶洗剤使用量



*自社調査により算出



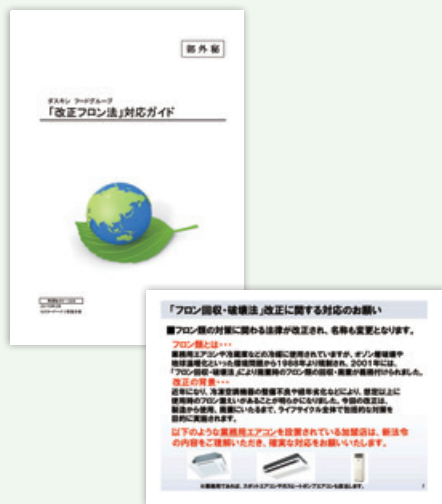
TOPIC

「フロン排出抑制法」への対応

2015年4月1日に改正施行された「フロン排出抑制法」への対応をグループ全体で行いました。

地球温暖化の原因の一つとして考えられているフロンガスの大気中への放出を削減するため、新たな措置として、冷媒としてフロンが使用されている業務用機器（エアコンや冷凍・冷蔵機器など）の定期点検とフロンガスの「算定漏えい量」の把握が事業者求められることになりました。

ダスキンでは、事業ごとに対応のための案内やガイド・手引きを作成し、周知を行いました。これにより、各拠点での対象機器の明確化と点検実施、「算定漏えい量」の把握に向けての準備が行われました。ダスキンではこれからも、環境法や社会的要請などを把握し対応する仕組みを維持し、企業としての責任を果たしていきます。



主な事業におけるガイド・報知内容

お店での取り組み

省エネルギーへの取り組み

●ミスタードーナツショップでの省エネ活動推進

お客様にとって快適な空間の維持に配慮しながら、空調の設定温度や、照明の必要箇所の見直し、バックヤードのこまめな消灯や水道光熱メーターの管理など、省エネ活動に取り組んでいます。

ショップに導入される冷凍・冷蔵機器も省エネタイプを標準導入しています。新規でオープンするショップではLED照明の設置を標準化し、既存のショップでも改装などの際にLED照明へ交換を進めています。2014年度は新規・改装あわせて51店でLED照明の設置を行いました。

リサイクルの取り組み

●ドーナツの廃棄削減と原料化リサイクル

廃棄するドーナツの個数を適正に保つため、製造スケジュールの見直しや廃棄チェックリストによる徹底管理を行っています。

また、関東及び東海エリアにある503店舗（全国の約39%）では、閉店後に残ったドーナツは飼料化処理工場へ運び、飼料としてリサイクルしています。

●ドーナツオイルのリサイクル活用

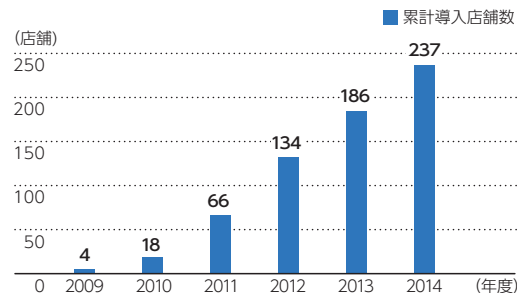
古くなったドーナツオイルは、主に飼料や工業用の原料として使用するほか、ショップ用液体石けんにリサイクルしています。また、一部地域では、マットやモップを洗浄・再生するダスキンの工場で、ボイラー燃料として活用しています。

●環境に配慮したユニフォーム

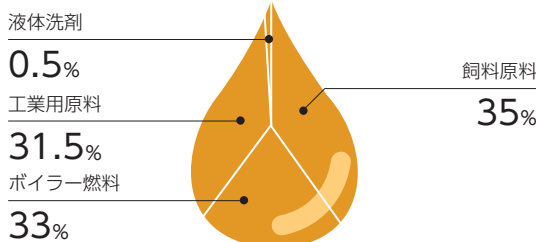
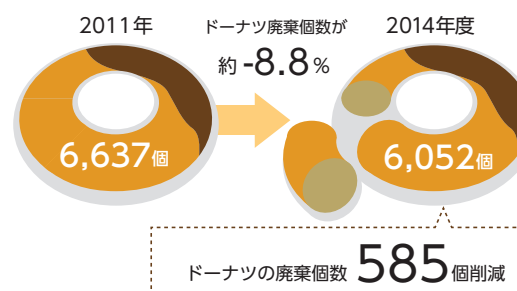
ミスタードーナツのユニフォームには、再生可能なポリエステル繊維を採用しています。帝人ファイバー株式会社が開発した技術により、古くなったユニフォームを使って新しい繊維を生み出すことが可能となり、素材を繰り返し利用することができるようになりました。

この素材の導入により、ミスタードーナツでは、ユニフォームの半永久的なリサイクルシステムが確立されています。

▶LED店内照明導入累計店舗数の推移



▶一店あたりのドーナツ廃棄個数（月間）



廃棄物削減への取り組み

●陶器・ガラス製食器の使用

ミスタードーナツでは、1974年より、使い捨てる紙製品ではなく、陶器・ガラス製食器を導入しています（ショッピングセンターなどのフードコートではガラスや陶器の使用制限に合わせ、紙コップなどを使っています）。紙製食器などの利用を削減することで、ごみの排出を抑えています。



1974年より陶器・ガラス製食器を導入

低公害車の導入促進

ダスキンでは、商品やサービスのお届け時に営業車両の使用は不可欠です。

車両から排出されるCO₂削減を目的として「エコドライブ」に取り組み、アイドリングストップなど環境に配慮した運転を推進しています。

また、車両を新たに導入する際の環境配慮について基準を設けており、営業車両においては低排出ガス車の導入を進めるとともに、本部で導入する車両はハイブリッド車などのより進んだ環境配慮車の導入を進めています。



小型電気自動車も導入されています

レントオールでの取り組み

レントオールでは、ベビー用品や旅行用品、イベント用品など幅広いレンタル商品を取り揃えています。レンタルを通じて、限りある資源の共有による有効活用を推進しています。

●使用後、返却された商品は、機能や安全性をチェックし、メンテナンスを行います。安心してレンタルをご利用いただけるよう、商品の管理を徹底しています。

●取り扱う商品の選定においても、環境配慮を進めています。例えば、展示会場で使用するパネルについても、従来の木工紙貼パネルは撤去時に廃棄物が出ていましたが、ダスキンレントオールでは設営から回収まで廃棄物を殆ど出さないシステムパネルを利用するなど、イベント設営用備品の環境配慮に取り組んでいます。



レントオールでの取り組み

商品・役務サービスでの取り組み

ダストコントロールでの取り組み

●ご家庭での節電取り組みにも貢献できるダスキンモップ

ダスキンモップを使ったお掃除では、ホコリを舞い上げることなくいつでもお手軽にお掃除することが出来ます。掃除機を使ったお掃除に比べ、電気の使用を抑え、節電にも貢献できるお掃除スタイルといえます。

おそうじベーシック3

モップを使ったお掃除でホコリをキャッチし、スタイルクリーナーで掃除機を出す手間なくホコリを吸い取る、おそうじベーシック3をレンタルで提供しています。



スタイルハンディ シュシュ

スタイルフロア ララ

スタイルクリーナー

●事業所用モップの取り組み

事業所用モップの主な商品では、製造工程での資源の再利用に取り組んでいます。繊維製品の紡績工程で発生し、従来は廃棄していた短繊維などの「未利用繊維」をパイルなど素材の一部に活用しています。こうして製造された商品はエコマーク認定を受けています。



ニューダスキン小モップ

ニューダスキンモップ

スマートモップ

ダスキンモップ M90

ダスキンモップ M120

エコマーク認定の事業所用フロアモップ(未利用繊維を使用)

ケアサービスでの取り組み

●エアコンクリーニングでの効果

節電は、重要な社会的課題の一つとなっています。年間の電力使用は夏場の日中にピークを迎え、その中でもエアコンの使用が大きな割合を占めています。エアコンの節電対策としては、フィルターの掃除などの定期的なメンテナンスの実施が有効です。サービスマスターのエアコンクリーニングでは、専門技術を習得したスタッフがエアコン内部まで分解洗浄を行うことで、風速や熱交換比率が回復し、電力消費量の削減にも貢献します。



家庭用・業務用のエアコン内部を洗浄

●洗浄・はく離汚水の処理

アルカリ度の高い洗剤やワックスのはく離汚水など、環境への影響が大きいものについては、適正に処理するため、現場から持ち帰っています。専用の処理剤を使い、中和・凝集・ろ過などを行ってできるだけ不純物を取り除く仕組みを導入しています。

●ターミニックスでの取り組み

ターミニックスではゴキブリ、シロアリ、ハチなどの害虫、ネズミやハトなどの害獣の駆除・予防において、人と環境に配慮し、薬剤の使用を抑え予防管理に重点をおいた「I.P.M(総合的有害生物管理)」を推進しています。定期チェックにより、害虫獣の生息しない衛生的な環境を維持します。



定期的にスタッフが訪問

特集4 | ダスキンの地域・社会貢献の取り組み

掃除の力で子どもの力を伸ばすために

教室が散らかっていても何とも思わない子どもたち。

そんな子どもたちへの掃除の指導方法に悩む教員の皆様。

創業以来、掃除のことをずっと考えてきたダスキンが、教育現場で掃除教育に関するお手伝いをしています。

子どもたちに掃除の大切さを伝えたい

事業の中核である「掃除」を通じて社会にお役立ちできる会社でありたい。そんな願いを込めて、ダスキンでは暮らしの快適化生活研究所が中心となって2000年から、学校教育現場でのさまざまな活動が無償でサポートしています。

ダスキンの学校教育支援活動は、学校掃除に関する指導方法を学んでいただく「教員向けセミナー」、子どもたちに掃除への興味・関心を持ってもらう「出前授業」、掃除教育のカリキュラム作成のサポート」の3本柱で構成されています。これらのすべてに関わる「マスター」や、主に出前授業を担当する「サポーター」を育成しています。

マスターとして、日々の業務をこなしながらサポーターの育成にも取り組み、加盟店やエリアマネージャーとともに地元と信頼関係を構築できる人材を中心に、地域社会にとってもっと身近な存在になることを目指し、取り組みを進めています。



地域に活動の輪を広げていきたい

子どもたちの素直さや、教員の方々の真剣さにお応えするため、念入りに準備して、わかりやすく伝えるように心がけています。地域本部の推進担当として、私の体験を地域内の拠点に伝え、地域に根ざした取り組みの輪を広げていきたいです。

ダスキン クリーン・ケアグループ 九州地域本部
さかい りえ
坂井 梨恵
学校掃除マスター第1期生

ダスキンの数字

ダスキンから派遣される講師が学校掃除マスターの認定を受けるには、最低でも3年間の厳しい研修が必要です。マスターの候補生は、日常の業務をこなしながら、暮らしの快適化生活研究所の指導員とともに何度もリハーサルを繰り返し、教育現場のニーズにしっかりと応えるためのスキルを磨いています。

研修期間
3年間

子どもたちの力を伸ばすための教員向けセミナー

1日15分を学校での掃除の時間と考えると、45分授業の換算で、年間約66コマ分にもなります。この時間を通じて「掃除の大切さを考え、理解してほしい」「身の回りを整える習慣を身につけてほしい」といった思いが教員の皆様にあるものの、「どう指導すればいいかわからない」という声がよく聞かれます。

教員向けセミナーでは、学校掃除マスターの説明をもとに、掃除用具の使い方などを体験します。教員の皆様が子どものように目を輝かせて、説明に聞き入ります。そしてグループに分かれて、ディスカッションしながら掃除指導計画を立てます。今度は、参加者の皆様がプロの教員の顔に。実践的なプログラムで、日々の掃除指導に役立てていただいています。



掃除に興味や関心を持ってもらう出前授業

教室にはホコリが目立ち、床にはゴミが散らかっている。こんな光景も残念ながら少なくありません。

キレイのタネまき教室（出前授業）は、ホコリや汚れの正体を教えて「なぜ掃除をしないといけないか」を学び、ぞうきんやホウキなどの正しい使い方を身につける45分間の授業です。授業の後には、「こんなところにもホコリがあった！」と、掃除に無関心だった子どもたちにも大きな変化が。保護者の方からは「家に帰ったら玄関先に子どもが待っていて、学校で教わった掃除の仕方を一生懸命話してくれた」という声も寄せられています。

掃除の大切さを教えてあげるのは、大人の役目。子どもたちがやがて大人になり、その子どもたちに掃除の大切さを受け継いでいく。そんな未来を実現したいとダスキンは願っています。



特集4 | ダスキンの地域・社会貢献の取り組み

高齢者の暮らしに寄り添うために

人口のおよそ4人に1人が65歳以上の超高齢化社会となった日本。その数およそ3,300万人。医療機関や介護施設だけで高齢者の生活を支えていくことにも限度があります。住み慣れたご自宅でいつまでも安心して快適に暮らせるように、ダスキンはさまざまな形でお手伝いをしています。

お悩み事に耳を傾けて

身体状況や生活環境はさまざま。高齢者やご家族のお困り事は、一人ひとり違います。

ホームインステッド事業では、高齢者ご自身が言葉にきれない思いや希望を傾聴し、気づき、実現するために全力を尽くすことを心がけています。

食事作りや洗濯などの日常生活の家事、外出の付き添い、夜間の見守りなど。ご自宅で、ご家族に代わって暮らしのお手伝いをし、自立した生活をサポートするため、提供するサービスは多岐にわたります。

傾聴やコミュニケーション、危険予知などの研修を通じて、スキルを高めること。体験した事例を共有して、スタッフのサービスの質を高めること。お客様の要望や心の声をしっかり受け止め、高齢者の状況にふさわしいサービスの提案を目指しています。



信頼関係を築くことがすべての土台

歩行が困難なお客様がいらっしゃいましたが、病院にいきたがりません。週3回、心をこめて生活のお手伝いをして、半年たったある日、「君となら病院に行く」とのお言葉をいただきました。これも徐々にお客様との信頼関係を築いた賜物だともい、この言葉は、私の一生の宝物です。

ダスキン ホームインステッド吹田ステーション 営業担当
よしだ とみひこ
吉田 友彦



ご高齢者の暮らしのお手伝い

- ・認知症ケア
- ・夜間の見守り
- ・通院・外出付き添い
- ・食事作り・買い物
- ・日常のそうじ・洗濯

ダスキンの数字



認知症専門サービスをはじめ、日常の家事や外出、通院のつきそいなどのサービスをご提供。24時間365日、お一人おひとりのご要望に合わせてお手伝いします。

24時間 365日

ダスキンの数字



現在使っている用具が身体に合っているとご回答いただいた方の割合は、96.5%。丁寧なヒアリングとともに、納得いくまで試していただいた用具をレンタルしています。

満足度 96.5%

安心して日常生活を過ごすために

今までできていたことが、年齢を重ねていくとともにできなくなってくる。高齢者の方々が抱えるそんな不安を解消するために、介護用品や福祉用具のレンタルを通じて、生活をトータルにサポートしています。

どんな用具を選べばいいのか。すぐに借りることはできるのか。品質に問題はないのか。そうした心配事に対して、ヘルスレント事業では一つひとつ親身にこたえていきます。高齢者の方々の生活がより快適で安心になることを大切に、身体の状態や生活環境が違う高齢者の方々にマッチした福祉用具をお届けするため、常に最新の商品知識や介護情報をスタッフとともにチェック。ご利用になる方の自立へのサポートと介護する方の使いやすさを考えた福祉用具の提供でより快適な暮らしをサポートしています。



ご家族からの「ありがとう」を糧に

寝た状態から立ち上がる時、外出するとき。どんなときに不便を感じているのか、ご本人やご家族から丁寧に話を伺うことで、少しずつ見えてきます。最適な福祉用具を提案し、ご本人だけでなく、ご家族からも「ありがとう」のお言葉をいただくことが、何よりも励みになります。

ダスキン ヘルスレント吹田ステーション マネジャー
しま つよし
島 剛



介護用品・福祉用具のレンタルと販売

- ・介護ベッド・床ずれ予防用品
- ・車いす・歩行補助用品
- ・入浴関連用品
- ・トイレ・排泄関連用品

地域・社会貢献

ダスキンは、地域社会の一員として、街や地域でこれまで以上にお役に立ちたいと考えています。
「喜びのタネをまこう」という経営理念のもと、
地域社会に貢献できる企業として、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域・社会への取り組み

公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

「めい・あい・へるぷ・ゆう」の精神で、「障がいのある方の自立と社会参加」を支援しよう、との願いからダスキンは、1981年の国際障害者年に「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」を設立しました。（2011年12月 公益財団法人に認定。「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」に名称を変更。）

現在、ダスキングループをはじめ約18万名が会員となり、障がいのある方たちと共生する活動を行っています。フード事業のショップでは、レジのそばに「愛の輪基金」の入会パンフレットと募金箱を設置して、一般の方へも広く参加の呼びかけを行っています。

「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」は、大きく2つの事業を実施しています。

1つ目は、地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある若者を海外に研修派遣する事業です。設立以来、34年間で484名が研修をし、帰国後はその貴重な体験を活かし、大学教授や、自立生活センターの運営、障がい者スポーツのインストラクターなどさまざまな分野で活躍されています。

2つ目は、1999年より実施しているアジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、障がい者福祉を学んでいただく事業です。16年間で115名の研修生が学び、母国でリーダーとして活躍されています。



「ダスキン愛の輪基金」募金箱と入会パンフレット



ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業

ダスキン生産事業所見学

暮らしの身近にあるエコを実感する場として「生産事業所見学」を実施しています。回収されたモップやマットが洗浄され、再び商品化されるまでの工程を見ていただくことで、モノの大切さや環境保全への取り組みの重要性を学ぶ機会を提供しています。

2014年度は、6,704名の見学者が全国の生産事業所を訪れました。



生産事業所を見学する子どもたち

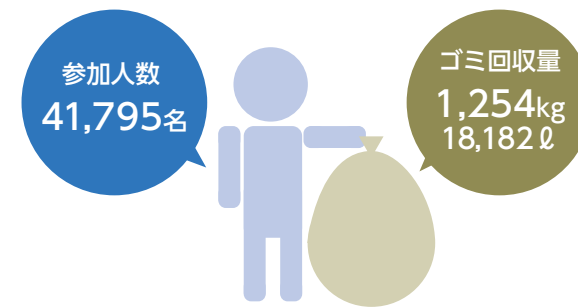
クリーンアップマイタウン

「クリーンアップマイタウン」活動は、ダスキンが、「身近に、未来に、エコのタネまき。」という環境宣言のもと全国で行っている地域のゴミ拾い活動です。

一般の方々にご賛同いただき、「一緒に街をキレイにしたい」という願いで行っている活動です。

2014年度には41,795名の方々にご参加いただき、2006年からスタートしたこの活動への参加者は、延べ約22万名となりました。

▶ 2014年活動実績



毎年多くの方にご参加いただく「クリーンアップマイタウン」活動

2014年度は全国で開催されている乳がんの正しい知識を広げる「ピンクリボン」のウォーキングイベントでも活動を行いました。



活動に参加したスタッフ

自然保護の取り組み

富山、石川、福井、岐阜の4県にまたがる白山国立公園は高山植物の宝庫として知られ、固有の生態系が保たれています。

しかし近年、登山者の靴底に付着したオオバコなどの外来植物の種子持ち込みによって在来種である高山植物の生育地が奪われるなど、貴重な生態系への悪影響が問題となっています。この外来植物の種子持ち込み防止の取り組みに、土砂の捕集性と耐久性に優れたダスキンのマットが活用されています。

2007年より、シーズンにはダスキンのマットが登山道などに設置され、マットで捕集した土砂から外来植物の種子が確認されるなど一定の効果が認められています。現在では白山国立公園の登山口や登山道など8カ所に計55枚のダスキンマットを提供し、生態系保護の取り組みに協力しています。



写真提供：環白山保護利用管理協会

ミスタードーナツでの清掃活動「反省と感謝の日」

毎年1月27日には、全国のミスタードーナツがショップ周辺の清掃活動を行ないます。これは1970年1月27日、ダスキン創業者・鈴木清一がミスタードーナツ事業の導入を決意した日にちなんだもので、以来、毎年1月27日を「反省と感謝の日」と定め、地域の方々に感謝の気持ちを表すために、早朝から清掃活動を行っています。

また、ミスタードーナツ各ショップでは、1月27日の売上の一部を「ダスキン愛の輪基金」に寄付をしています。



清掃活動は早朝から始まる

スマイルリングプロジェクト

東日本大震災の被災地の皆様に笑顔をお届けしたいという思いから、この活動は始まりました。震災直後に「ミスタードーナツカー」の準備に着手、完成後の2011年10月10日から東北地域を中心に訪問を実施しました。その後、2012年8月からは訪問先を全国各地に広げて活動を続けています。

幼稚園・保育園などを訪問し、キッチン設備を搭載した「ミスタードーナツカー」でのドーナツ製造見学やドーナツデコレーション体験、ミスタードーナツの人気キャラクターポン・デ・ライオンと一緒に「ドーナツたいそう」を踊るプログラムなどをご用意して、子どもたちに楽しいひとときを過ごしていただくイベントを行っています。これからも、ドーナツを通じて一人でも多くの子どもたちと笑顔の輪をつないでいきたいと考えています。



▶ 2014年活動実績

ドーナツプレゼント数	ドーナツたいそう参加者
8,266個	約4,600名
ドーナツデコレーション 体験参加者	ユニフォーム体験 [※] 参加者
1,282名	646名

※ユニフォームを着用しての写真撮影

全国の子どもたちと交流するスマイルリングプロジェクト

「こども110番」運動に参加

危険を感じたら、ミスタードーナツのショップへ。

近年、登下校時に子どもたちがトラブルに巻き込まれる事件が多く発生し、社会問題となっています。そこで、各地の自治体・警察・PTAなどが中心となり、子どもたちを犯罪から守る「こども110番」運動が全国各地に広まっています。

ミスタードーナツでは、各ショップの店頭に「こども110番」運動のステッカーを掲示。助けを求めてきた子どもたちを一時的に保護し、110番通報などを行います。トラブルに巻き込まれたり、巻き込まれそうになったときに駆け込める場所だということを、保護者の方はぜひ子どもたちに教えてあげてください。

この取り組みを通して、子どもたちの安全を確保するとともに、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献したいと考えています。



青少年育成大阪府民会議
こども110番運動ステッカー

学校教育支援活動

ダスキンでは、2000年より掃除教育に関する研究に取り組み、教員セミナーや出前授業、教育支援カリキュラムなどを通して、未来を担う子どもたちに「掃除の必要性や知識、習慣を身につけてほしい」「ゴミの捨て方や環境のことを考えられるようになってほしい」「掃除を通して内なる力を伸ばしてほしい」、そんな願いが認められ、2014年には経済産業省が主催する「第4回キャリア教育アワード」[※]の大企業の部において優秀賞を受賞しました。

これからもお掃除のプロとして人材・ネットワークを生かしながら、子どもたちの未来へ貢献していきたいと考えています。



※「キャリア教育アワード」とは、企業や団体による教育支援の取り組みを推奨・普及するために、経済産業省が2010年度から実施している表彰制度です。

劇団四季「こころの劇場」に協賛

劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターが主催する「こども劇場」は、舞台を通じて未来を担う全国の子どもたちに、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、人が生きていく上で大切なことを語りかけ、心豊かな社会の実現をめざすプロジェクトです。2008年からスタートし、2015年度は、全国142都市460公演、約53万8千人を招待する予定です。

ダスキンは、社会貢献の一環として、2014年度から上演活動に協賛しています。



表彰式に出席したスタッフ



「こころの劇場」上演作品 劇団四季ミュージカル
人間になりたがった猫

第4回大阪マラソンに協賛

今回で4回目となる「大阪マラソン」。ダスキンはランナーをはじめ大会にかかわる多くの人々がチャリティに参加する大会趣旨に賛同し、第1回大会から協賛しています。チャリティテーマの一つである「美しいまちを支える」を推進するため、コース沿道の清掃活動などにも取り組みました。



第4回大阪マラソン（2014年10月26日）

災害時支援の登録

ミスタードーナツでは、大規模災害などで交通がマヒした場合に帰宅支援が行えるよう各自治体等と「災害時における徒歩帰宅者支援に関する協定書」を締結しています。

ショップでの主な支援内容としては、徒歩帰宅者に水道水やトイレ、道路情報等の提供を行います。2008年からスタートしたこの取り組みは2014年3月末現在、35都道府県で計654のショップが提携を行っています。これらのショップでは店頭「災害時帰宅支援ステーション」のステッカーを掲示し周知を図っています。

※一部のショップを除きます。



「災害時帰宅支援ステーション」のステッカーが目印

高齢化社会への取り組み

高齢化社会の日本では、高齢者が住み慣れたご自宅で、尊厳を持って自立した生活を送ることが求められています。ダスキンは、地域社会の一員として、高齢者ご本人・ご家族の安全・安心・快適な生活をお手伝いしています。

ヘルスレント

介護用品・福祉用具のレンタルと販売を通じて、高齢者がご自宅で朝起きてから夜寝るまでの行動をサポートし、高齢者の自立支援と生活の質の改善に貢献するとともに、高齢者とそのご家族に快適と安心を提供しています。

介護用品・福祉用具は介護保険適用を中心として取扱っており、またリスクの予測・評価などの独自の厳しい基準をクリアした商品だけを提供しています。また、3ヵ月に1回、ご利用状況のモニタリングを実施し、商品を長く使っている場合でも安全性が確保されていることをチェックしているほか、徹底した衛生管理システムにより、洗浄・消毒・メンテナンスを行っています。これらの取り組みにより、ご利用者の安全・安心につなげています。

今後、介護が必要になる人がますます増加することを見据え、要介護度の低い方や介護認定前の方でも利用しやすい介護用品・福祉用具の拡大に取り組んでいきます。



ホームインステッド

認知症ケアや夜間の見守り、食事作りや、身体、食事、排泄介助などのサービスを提供し、24時間365日、お一人おひとりのご要望に合わせて、住み慣れたご自宅で、ご家族に代わって生活のお手伝いをしています。特に、認知症の方については、認知症ケアトレーニングを受講したスタッフが対応しています。介護保険適用外で、公的サービスではカバーしきれない部分で高齢者の生活を支援するとともに、ご家族の介護負担の軽減につなげています。

厚生労働省では「認知症を知り地域を作るキャンペーン」の一環である「認知症サポーターキャラバン」を実施しています。ダスキンのホームインステッド事業部は、認知症を理解し、認知症の人とご家族の方を応援する認知症サポーターを全国で養成する事務局のひとつとなっており、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現に貢献しています。



認知症サポーター養成講座標準教材



認知症サポーターの証となるプレスレット
「オレンジリング」

株主・投資家

株主・投資家についての考え方

ダスキンは、株主・投資家に対して、法令や証券取引所規則などで公表が必要とされる経営情報については適時・適正・公平に公表しています。更にその他にも、投資判断に有用と考えられる当社の各種取り組み状況やニュース、トピックス等についても、ホームページ、株主通信で積極的に開示しています。

また、株主・投資家の当社への理解を深めて適正な評価を得ることや、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、意欲的な対話に努めるとともに、積極的なIR活動に取り組めます。



「日経IRフェア2014」出展ブースの様子



ダスキン株主通信「ナビダス」

株主優待

ダスキンは、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、ダスキン株式を中長期的に保有していただける魅力あるものにすることを目的に、更には、ダスキングループが提供する商品・サービスを幅広く利用いただくことで、ダスキングループの事業内容をより深く理解していただくことを目的に株主優待制度を実施しています。

■ 対象株主

毎年3月31日現在及び毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上保有いただいている株主様が対象です。

■ 優待内容

株主様の保有株式数	ご優待内容
100株以上300株未満	株主ご優待券1,000円分(500円券×2枚)
300株以上	株主ご優待券2,000円分(500円券×4枚)

■ 社会貢献寄付制度

ダスキンは、企業であると同時に社会の一員であることを強く認識し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。ダスキンの社会貢献活動に賛同いただける株主の皆様に、ダスキンを通じて社会貢献活動へご参加いただけるよう利用範囲を広げています。

株主様からご返送いただいた「株主ご優待券」の相当額を株主様に代わって、社会貢献活動団体へ寄付させていただきます。